

会長のページ 日本医師会と日本医師連盟	稲倉 正孝	3
日州医談 総合医(仮称)認定制度	松本 宏一	4
随 筆 貴重な一冊のアルバム	貴島テル子	6
中村博士の加減飲酎会会則	佐々木幸二	7
薬剤師から医師に	大崎 卓	8
エコー・リレー(410)	黒木 龍二, 東 和弘	9
メディアの目 メタボリックな夜	前田 昭人	12
宮崎大学医学部だより(外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野)	長濱 博幸	16
専門分科医会だより(外科医会)	田中 俊正	18
ニューメンバー	石田 康, 榎本 雄介	43
私 の 本 実践「透析ノート」	岩切 清文	59
診療メモ 新型インフルエンザ	瀧口 俊一	60
宮崎県感染症発生動向		10
あなたできますか?(平成20年度医師国家試験問題より)		13
各都市医師会だより		14
医師・看護職員等不足に関するアンケート調査結果について		20
薬事情報センターだより(269) 新薬紹介(その31)		24
各種委員会(介護保険委員会)		25
第1回宮崎県医師会医家芸術展		26
初期医師臨床研修/修了後専門研修説明会 in みやざき		27
県糖尿病対策推進会議幹事会		28
第53回九州ブロック学校保健・学校医大会,平成2年度九州学校検診協議会(年次大会)		29
ベストセラー		33
日医 FAX ニュースから		34
医事紛争情報		36
理事会日誌		38
県医の動き		42
会 員 消 息		44
ドクターバンク情報		45
行 事 予 定		49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		51
おしえて!ドクター健康耳寄り相談室		62
読者の広場		68
あ と が き		70
~~~~~		
お知らせ 会員交流用のメーリングリスト加入のご案内		17
「新春随想」原稿募集		19
宮崎県医師会親善ゴルフ大会		33
宮大医学部学生からのお知らせ(第5回清花祭)		64
郡市医師会への送付文書		66

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品〕

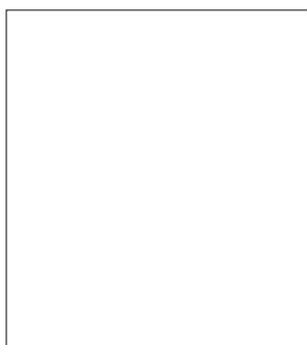
### 真幸駅

この絵は 15 年前、1994 年 11 月、えびの地震後の防護壁の上から現場で制作しました。来る途中に車の屋根固定の紐が切れて 10 号キャンバスが風に煽られて宙に浮いた苦い経験があります。今は昔日の趣はなく、芒の集落もなく花壇が畑のようになっていました。プラットホームには乗客が鳴らすように釣り鐘があります。以前の真幸駅の面影は薄れつつありました。

えびの市 さい 齋 とう 藤 つぎ 宰

## 会長のページ

## 日本医師会と日本医師連盟

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

8月30日に行われた第45回衆院選で民主党が308議席を獲得、自民党が119議席、公明党が2議席に終わり、民主党が圧勝し政権交代が実現した。9月1日には民主・社民・国民新の3党連立による鳩山内閣が誕生した。民主党を中心とした新政権の誕生で、医療政策の大幅な見直しが行われるのは必至の情勢である。前回の第44回衆院選(小泉純一郎元首相による郵政民営化選挙)では自民党が圧勝し、自民党・

公明党による連立政権は衆院の3分の2以上の議席を獲得していた。現在の衆院の選挙制度(小選挙区・比例代表制)では、政党の支持率の差が大きく増幅されて、当選人の差となる。すなわち、政権交代が容易に起こり得ることが理解できる。

新聞報道によると、自民党の野党転落により、長年にわたり同党を支援してきた業界団体の「自民党離れ」が加速している。日本歯科医師会の政治団体「日本歯科医師連盟」は自民党から参院比例区に立候補させる方針を撤回した。全国建設業協会、日本薬剤師会と同様、日本医師会も自民党支持の変更も視野に入れている。

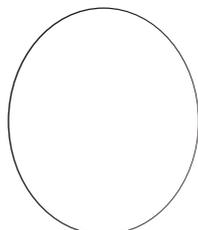
日本医師連盟規約によると、役員は全て日本医師会役員をあてている。日本医師会と日本医師連盟の役員が全く同じである。これでは国民から見ても、政党から見ても、行政から見ても日本医師会と日本医師連盟は全く同じ物と思うのは当然である。

日本医師会の主たる業務は、医療政策の立案・関係省庁との折衝などを通じて社会に貢献することである。日本医師連盟の役割は、日本医師会の政策を実現し、目的を達成するために必要な政治活動を行うことである。本来、日本医師会と日本医師連盟は完全に別組織にする必要がある。今回の衆院選挙の結果を考慮し、今後の活動をスムーズにするためには、日本医師連盟はメンバーを一新して再出発すべきと考える。日本医師会と日本医師連盟の構成員が全く同じであるのは問題である。

ちなみに、他の医療関係3団体について調べてみると、日本歯科医師会と日本看護協会では本会役員と連盟役員は全く別であり、日本薬剤師会では、会長のみが本会と連盟の会長を兼ねている。

(平成2年10月2日)

## 日州医談



## 総合医(仮称)認定制度

常任理事 まつもと こういち  
松本 宏 一

総合医とは、最新の医療情報を熟知して、必要ときには専門医を紹介できる「地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師」のことを言う。

日本医師会はこの総合医を養成するための認定制度を創設しつつある。

## 1. 背景

一つには医療事故の多発があり、いま一つは医師が過度の専門性に偏りすぎて全体をみる医師がいないという問題がある。

国民が期待する医療として、幅広い分野を診ることができる医師が必要とされている。

## 2. 制度の創設

日本医師会が関連3学会(日本プライマリ・ケア学会、日本家庭医療学会、日本総合診療医学会)の協力を得て、主導的に認定を行う。

日本医師会では、日医学術推進会議と日生涯教育推進委員会との連帯の下で、認定制度システムや、認定カリキュラム(案)を作成した。

## 3. 認定

日本医師会に認定機構を設置し、日本医師会が「総合医(仮称)」という専門医を認定する。

## 4. 認定コース

## 1) コース

対象：2年間の卒後臨床研修を修了した医師  
プログラム：研修プログラムに則って、行動目標を達成するための3年間以上の実務研修

## 2) コース

対象：臨床経験7年以上、15年未満の医師  
プログラム：50単位(1単位は1時間の講義・実技の受講に相当)

## 3) コース

対象：臨床経験15年以上、45年未満の医師  
プログラム：20単位

## 4) コース

対象：臨床経験45年以上の医師  
プログラム：必要に応じて今後検討  
臨床経験年数の長い医師はプログラム取得単位が少なくても良く、臨床経験45年以上の医師はプログラム取得をしなくても認定されそうである。

## 5. カリキュラム

## 〔一般目標〕

頻度の高い疾病と傷害、それらの予防、保健と福祉など、健康にかかわる幅広い問題について、わが国の医療体制の中で、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的視点から提供できる総合診療医としての態度、知識、技能を身につける。

## 〔行動目標〕

- 1) 医療専門職としての使命
- 2) 全人的視点
- 3) 医療の制度と管理
- 4) 予防・保健
- 5) 地域医療・福祉
- 6) 臨床問題への対応
- 7) 継続的なケア

以上、認定カリキュラムは非常に膨大な量であり多岐にわたる。行動目標のそれぞれの項目の中に、さらに細分化された項目が多数掲げられている。微に入り細を穿ち、あらゆる診療科にまたがり、医師国家試験よりも難しく感じる。

例えば行動目標の「6 臨床問題への対応」では57個の項目があり、その内の1つ、25番の鼻出血では次の様になっている。

#### 鼻出血

病歴と出血の程度から原因を見極め、必要に応じて可能な止血処置を行いつつ、専門医への紹介が必要か否かを判断できる。

適切な病歴聴取ができる。

指先や鼻こすりによる物理的刺激、顔面外傷、出血量、持続期間  
病歴を踏まえて、必要な身体診察ができる。

バイタルサイン、鼻孔部、口腔内の観察

優先度に配慮して臨床検査を施行できる。

血液一般検査(凝固機能検査を含む)  
病歴、身体所見、検査所見を踏まえて、鑑別診断として、以下の病態・疾患を挙げることができる。

物理的刺激によるもの、外傷性、血液疾患、肝機能障害、高血圧  
専門医に紹介すべき病態・疾患を判断できる。

簡単な止血操作で止血しない場合、繰り返す出血、鼻後部からの大量出血(口に回る出血)  
自ら継続管理してよい病態・疾患を判断できる。

簡単な止血操作に反応する出血、容易に止血する出血  
エビデンスに基づいた標準的なマネジメントができる。

簡単な止血操作

#### 6. 総合医認定制度の問題点

- 1) 厚生労働省が考える「総合科」構想に利用され、患者のフリーアクセスの制限、医療費の定額払いや人頭割や総枠規制に結びつく。
- 2) 医師の間に総合医の資格を持つ者と持たない者という格差ができる。

以上が総合医認定制度の概要である。

次に、宮崎県医師会が日本医師会に送った総合認定制度に対する意見を載せておく。

日医が創設する認定制度が、厚労省の「総合科」構想に利用され、人頭割、定額払い、総枠規制に結び付き、フリーアクセスが制限されることのないよう十分注意して制度設計をする必要がある。

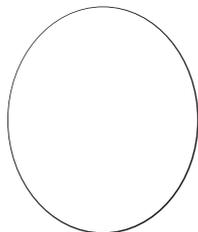
地域医療を担う医師全員が基本的資格として取得すべき性格のものとし、日医が主導的に創設、運営し、認定を行う。

内容としては、全科の知識を網羅するのではなく、地域の保健事業や介護福祉制度の理解を主とし、患者の健康やQOL向上を目指すものとし、適切な専門医紹介能力を習得する。

複数の診療科にわたる疾患については、従来通り、地域医療機関の連携で対応することを基本とする。

懸念されることとして、関連3学会(日本プライマリ・ケア学会、日本家庭医療学会、日本総合診療医学会)は学会認定制度として認定者数を制限し、制度の格を保つことを求められると思われる。そうなると、認定医と非認定医で差別化が行われ、厚労省に利用される危険性が高い。日医と関連3学会等との間でどのような協議が行われているのか、会員に対して経過を明らかにしながら進めていただきたい。

## 随 筆



## 貴重な一冊のアルバム

宮崎市 貴島小児科 ^き 貴 ^{じま} 島 ^こ テル子

私の記憶に無い方からのお手紙を頂いた。何かと開封するとそれは主人の母校の大学の創立百年記念号を出すにあたり戦争中同窓生の活躍を出したいので、その参考資料として主人の在学中、およびその後の活躍を写真と共に知らせて欲しいと。しかし私の手にはあまり残されていない。今私の手に残されているものは彼が学生時代に作ったと思われる粗末なスケッチブックだけだ。之は彼が最後まで大事に持っていたもので彼の従兵が遺品として送ってくれたもので、筆まめな彼が4か月も使りが無く、もしや戦死？いいや使りも出せない激戦地？疑心暗鬼の私は知人の分隊長の留守宅やあらゆる心当たりの方に手紙を出したが、何処からも返事は無い。皆様戦死はご存知だったそうだけど私には言えなかったと後に聴かされた。

暗中模索の4か月過ぎた年末の大晦日に配達された彼の従兵からの小包を開けて、私は大声をあげて泣き崩れた。

中にあったのは貴島少尉の遺品の文字。戦死の公報は無いものの彼の戦死を認めざるを得な

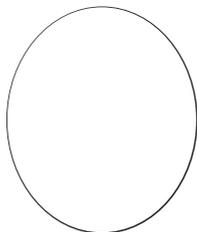
い現実だった。そこにあるのは健気な軍国の妻ではない。彼は再三にわたり書いていた、武人の妻として覚悟しておくようにと。それには期待し得なかった。

之には以前書いた記憶があるが、今回のアルバムにことづけてまた新たに思い出した。

アルバムの終わりに近いページに、清武の実家の診療所の門前で和服姿の彼の写真と、県庁で撮ったと書いてある私の写真が同じページに貼ってあった。その裏に南国の乙女と書いてある。それは昭和13年と書いてあった。当時私との交際が始まったころではないかと思うが、結婚したのは昭和16年だから3年位は玄界灘を越しての恋愛期間だったのか、等々一冊のアルバムから7年前の若かりし頃のことを昨日のことのように思い出していた。

彼はこのアルバムについては私には一言も言わなかった。そうしてニューギニア、アラスカ、ソロモンへと持って行き彼を慰めていたに違いない。そう思うと私にとっては何にも替え難い貴重な一冊のアルバムでした。

## 随 筆



## 中村博士の加減飲耐会会則

都城市 佐々木医院 佐々木 幸 二

故中村為男，元慈恵会医科大学教授により発足された飲み会の会則が出てきました。中村為男氏は高崎町出身で都城中学(現 泉ヶ丘高校)から東京慈恵会医科大学を大正 9 年に卒業され，昭和 3 年から 2 年半ドイツ留学，昭和 8 年解剖学教授に，16 年日本解剖学会理事，2 年には母校の監事になりました。腐食解剖では世界的権威者です。戦後，GHQ により戦犯となり公職追放を受け大学を辞職，2 年から 26 年は高崎町で隠遁生活され，その時加減飲耐会を始めたようです。兄の名付け親です。昭和 26 年 11 月公職追放の解除後は昭和医大の教授になりましたが，

私が幼い頃，帰郷の際しばしば我が家に立ち寄り祖父や父達と焼酎を賑やかに飲んでおられました。「都城中学でトップでなかった事が未だに悔しい」と多湖輝著の「頭の体操」を同封で手紙を頂きました。私が高校 2 年で，博士はその時 72 歳でした。「父が 73 歳で死んだから，自分もあと一年と思う」とあり，73 歳で永眠され学葬されました。地元では中村博士と呼ばれていました。博士を偲んで投稿しました。(御親族の承諾済)

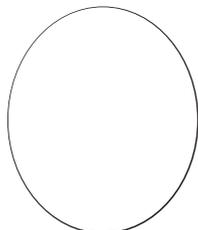
今年 9 月 12 日，現慈恵会医科大学教授の吉村先生(宮崎医大卒)に会則のコピーを差し上げましたところ，大変喜んでおられました。

## 加減飲耐協会会則

- 第一条 本会は加減飲耐協会と称し民族衛生の立場から飲耐に際し加減を旨とし町内に於て健全にして新たな飲耐文化を打立つるを以て其の目的とす。
- 第二条 本会の目的達成のため之れに関する文書の刊行講演或は政談会を催し同時に加減飲耐を實踐し大いに浩然の気を養ひ且つ明朗活達の氣風を振起するものとす。
- 第三条 本会正会員は常に飲耐衛生と飲耐道義の高揚を計り加減飲耐の間に処して良く世界の大勢に通じ、高き情操を養ひ人品を挙上し、人生を享樂するものとす。
- 第四条 本会正会員は予て飲耐嗜好の同志にして敬神信仏常に愛国愛町の精神に漲るものとす、偶々同調の士ある時は徐々に之を贊助会員として加入せしむるものとす。
- 第五条 本会の計理は会員の会費並に特志寄付とし開会の都度之れを徴収するも稀けんにはや会員相互のおこりとす。
- 第六条 本会に会長及び理事を置き其の任期は有限とす。会員は自由と平等の立場に於てその欲する役員に就くことを得るも希望者多数なる時は静かに次の順番を待ち決して肝短しこあせらざるものとす。
- 第七条 本会会員は途中にて出会ひたる時は互に顔を見合せていとも丁寧挨拶し加減飲耐の仕合せを語り合ひ共に健康なる日暮しを祝福するものとす。
- 第八条 本会会員は宴会又は小飲会の座に於てはほろ酔ひ機嫌を汐時として切り上げ偶々夜半に及びても決して十時三分を過ぐるまで長尻せず酔態を整えて直に家庭直行するものとす。
- 第九条 本会会員は加減飲耐のお蔭ちやと云ふて飲み方の帰りに必ず甘い土産など持ちもどり家族達をむぞがることを怠らざるものとす。
- 第十条 本会会員は機会ある毎に本会の趣旨を町内全般に徹底滲透せしめ旧来の幣風を改めて頑迷固陋の分野を良く開拓し、共々相携えて飲耐文化の向上を計り、平和なる社会生活の洗煉と道義日本の建設に寄与せんとする本会本来の念願を大いに推進するものとす。

会長 医学博士(ドクトルメディナーネ) 中村 為 男

## 随 筆



## 薬 剤 師 から 医 師 に

延岡市 県立延岡病院 おお さき たかし  
大 崎 卓

医師会の皆様こんにちは。県立延岡病院研修医 2 年目の大崎と申します。

今回、医師会より原稿の依頼をいただきました。本来は随想的なことを書くところなのでしょうが、私の経歴が多少複雑なため、このことで配属になった各部署にてご質問をうけるので、この場を借りて自己紹介をさせていただこうと考えました。

出身は延岡市です。実家は薬局をしていました。県立延岡高校を卒業後東京薬科大学薬学部へ進学。東京薬科大学は私立薬学部で最古の伝統校であり、各分野にOBがいることが多く、いろいろな方面にてネットワークをつくることができました。薬学部を卒業後 2 年間、東京大学医学部附属病院院外処方調剤の仕事に携わりました。その後帰郷して実家の薬局に勤務。30 歳のときに家業を引き継ぎました。県北で 4 つの薬局の経営をしていました。

このようにして薬剤師として約 20 年間医療に関わってきました。そして 43 歳のとき一転して医学部に学士編入しました。このことの経緯をよく尋ねられます。詳しくは私のブログ(<http://tadpoleph.exblog.jp/>)に記載してあります。よろしければ覗いてみてください。

このブログは名古屋市内の出版社からの依頼で定期的にかけていたコラムを転載していたものです。

薬局を経営しながらの学業は時間的にも体力的にも苦行でしたが、やり遂げることができたのは「医師に未練を残したままの人生は無意味」という強い思いがあったからだと思います。

医学部在学中に Harvard Medical School の primary pediatric teaching hospital である Children's Hospital Boston にて臨床研修をさせていただく機会を得ました。まだヨチヨチ歩きの医学生でしたが医学的にも社会的にも自らの識見を広げることができた貴重な機会でした。このときの模様を私のサイト(<http://madrassph.wospace.ne.jp/lbbs/>)に掲載しています。パスワードは pqq223r です。

平成 20 年 4 月より県立延岡病院にて臨床研修をさせていただいています。県立延岡病院は指導医が約 60 名いるのに対して管理型の研修医は私 1 人という願ってもない絶好の環境です。また救急の症例も多く、日々実地に興味深く勉強させていただいています。

いよいよ私の臨床研修も終盤が近づいてきました。ここまで 2 つの医療職に就き培った知識と経験を基礎に 3 年目からの専門科研修に進むべく研鑽して参りたいと考えています。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

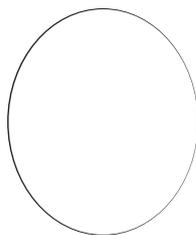
## エコー・リレー

( 41回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 5 人目の家族

宮崎市 くるき整形外科 黒 木 龍 二



我が家は猫があまり好きではありませんでした。家族に少し猫アレルギーの者がいたり、野良猫がゴミをあさったり駐車場に入って車に足跡をつけたりで、たまに駐車場で遭遇するといつも追い出していました。

去年の9月のある日、駐車場の隅に生まれたばかりの子猫がうずくまっていた。我が家の駐車場は一応シャッターがあるので人の出入りはできません。おそらく親猫と一緒に入ってきて置き去りになったか、もしかすると駐車場の中で生まれたのかもしれませんが。かなり弱っている様子で泣き声にも力がないような状態でしたので、そのまま放置することもできず、近所の動物病院に連れて行ったところ、先生はシリンジでミルクを与え「今日が山でしょう」と言われました。仕方ないので翌朝まで面倒を見ようということで、靴の空き箱にタオルを敷いて家で寝かせました。

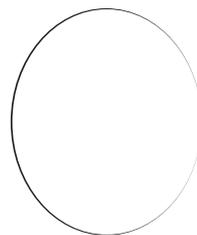
それからこの子猫との生活が始まりました。私の朝はまず彼女のミルクを作ることから始まり、事あるごとにホームセンターで猫用品を買い、それまで年に5～6回くらい行っていた家族旅行に全く行かなくなりました。家族の猫アレルギーもなくなりました。

あれから1年、最初は片手に乗るくらいの子猫でしたが今では体重も約4 kgになりました。ここ半年はほぼ毎日のように私と一緒に職場に「出勤」し、休憩室で一日を過ごしながら私の疲れを取るといふ立派な仕事をこなしています。今では欠かせない5人目の家族です。

〔次回は 新富町の谷島 満先生にお願いします〕

## ギターのお供

日南市 東内科クリニック 東 和 弘



3年前からクラシックギターを習っている。月3回、土曜日夕方6時から30分間の個人レッスンだ。日南市から宮崎市まで通っている。ギターも高いのと安いのと2本あり、いつでも手に取れるように自

宅と院長室に1本ずつ置いてある。自己練習では上手に弾けても講師の先生が目の前に居ると急に指が動かなくなる。スローペースの生徒相手に講師の先生は忍耐強い。首尾よく課題曲を卒業した夜はニシタチでささやかな祝杯を上げる。しかし、不合格の日は夕日を背に日南に帰り、また猛練習だ。

ギターを弾いている時は時間の歩みが速くなる。あわててお風呂の水道の蛇口をしめに行ったり、見たかったテレビ番組が終わっていてがっかりしたりするが、家族で出かける時の女性軍の長いお待たせ身支度時間がすぐに過ぎ、逆に「お父さん、早くして」と言われるのは良い。

懐にしっかりとギターを抱え、ネックに左手を添えた瞬間なぜか安堵する。右手で弦をつまびき、音を紡いでいくと、それまでささくれたっていた心が綿菓子のようにふんわりと溶けていくのを感じる。ウイスキーを横に、ほろ酔い気分で弾くと、ギターのその甘い音色はさらに甘さを増し、いつしかナルシソ・イエペスの世界へと導かれる。先月「禁じられた遊び」を卒業したばかりだ。今月の課題曲は「グリーンスリーブス」。今夜のギターのお供はスコッチにしようかバーボンにしようか。

〔次回は 国富町の小橋正洋先生にお願いします〕

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 8 月 ～

平成 2 年 8 月 3 日 ～ 平成 2 年 8 月 30 日 ( 第 32 週 ～ 35 週 )

## 全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類：結核 1 例が高鍋 ( 7 例 )、宮崎市 ( 6 例 )、延岡 ( 2 例 )、都城・日向 ( 各 1 例 ) 保健所から報告された。患者が 1 人、疑似症患者・無症状病原体保有者がそれぞれ 3 人で、患者は肺結核が 9 人、その他の結核 ( 結核性胸膜炎、結核性足関節炎 ) が 4 人 ( 肺結核含む ) であった。男性 11 人・女性 6 人で、10・40・60 歳代がそれぞれ 1 人、70 歳代が 3 人、80 歳代が 1 人であった。
- 3 類：腸管出血性大腸菌感染症 14 例が都城 ( 9 例 )、宮崎市 ( 4 例 )、中央 ( 1 例 ) 保健所から報告された。患者が 6 人、無症状病原体保有者が 8 人で、主な症状は腹痛、水様性下痢、血便、発熱であった。原因菌の血清型は O 26 ( VT 1 産生 ) が 8 例 ( 有症者 2 例 )、O 9 ( VT 1 産生 ) が 1 例 ( 無症状 )、O 157 ( VT 2 産生 ) が 2 例 ( 全て有症者 )、O 157 ( VT 1、VT 2 産生 ) が 2 例 ( 全て有症者 ) であった。年齢別では 4 か月・5・6・8 歳・20 歳代・60 歳代がそれぞれ 1 人、1・2 歳・10 歳代・30 歳代がそれぞれ 2 人であった。
- 4 類：○日本紅斑熱 1 例が宮崎市保健所から報告された。60 歳代の男性で発熱、頭痛、発しん、肝機能異常がみられた。マダニからの感染と思われる。  
○レジオネラ症 ( 肺炎型 ) 1 例が都城保健所から報告された。70 歳代の男性で発熱、咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎、多臓器不全がみられた。
- 5 類：○アメーバ赤痢 ( 腸管アメーバ症 ) 1 例が日南保健所から報告された。50 歳代の男性で下痢がみられた。  
○急性脳炎 1 例が宮崎市保健所から報告された。14 歳の男子で発熱、痙攣、意識障害がみられた。新型インフルエンザの患者。  
○梅毒 1 例が宮崎市保健所から報告された。20 歳代の男性で無症状病原体保有者。  
○麻しん ( 臨床診断例 ) 1 例が宮崎市保健所から報告された。9 か月の女児で発熱、咳、鼻汁、眼脂、発しん、中耳炎、腸炎がみられた。ワクチン接種歴はなかった。

表 前月との比較

	8 月		7 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 た(人)	報告数 (人)	定点当 た(人)	
インフルエンザ	312	5.3	41	0.7	
RSウイルス感染症	16	0.4	2	0.1	
咽頭結膜熱	44	1.2	98	2.7	
溶レン菌咽頭炎	139	3.9	377	10.5	
感染性胃腸炎	813	22.6	1,087	30.2	
水痘	238	6.6	338	9.4	
手足口病	483	13.4	260	7.2	
伝染性紅斑	37	1.0	35	1.0	
突発性発しん	197	5.5	265	7.4	
百日咳	34	0.9	147	4.1	
ヘルパンギーナ	385	10.7	578	16.1	
流行性耳下腺炎	164	4.6	233	6.5	
急性出血性結膜炎	1	0.2	1	0.2	
流行性角結膜炎	71	11.8	50	8.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
無菌性髄膜炎	2	0.3	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	6	0.9	3	0.4	
クラミジア肺炎	2	0.3	0	0.0	

## 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 2,944 人 ( 定点あたり 90.0 ) で、前月比 85% と減少した。また、例年と比べると 112% と多かった。

8 月に増加した主な疾病は RS ウイルス感染症、インフルエンザ、手足口病、流行性角結膜炎で、減少した主な疾病は百日咳、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾病はインフルエンザ、百日咳、手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 312 人 ( 5.3 ) で前月の約 7.6 倍、例年の約 9.8 倍であった。延岡 ( 10.7 )、宮崎市 ( 7.9 ) 保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 24%、6～9 歳が 25%、10～14 歳が 25%、15～19 歳が 12%、20 歳以上が 14% であった。

RS ウイルス感染症の報告数は 16 人 ( 0.4 ) で前月の約 8 倍、例年の約 1.6 倍であった。宮崎市 ( 1.2 ) 保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳以下が全体の約 8 割を占めた。

手足口病の報告数は 483 人 ( 13.4 ) で前月の約 1.9 倍、例年の約 2.4 倍であった。延岡 ( 45.3 )、日向 ( 43.0 )

例年同時期 ( 過去 3 年の平均 ) より報告数が多い A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から2歳で全体の約8割を占めた。

流行性角結膜炎の報告数は71人(11.8)で前月の約1.4倍、例年の約1.3倍であった。延岡(23.0)保健所からの報告が多く、年齢別では20歳代と30歳代で全体の約半数を占めた。

百日咳の報告数は34人(0.94)で前月の約2割と減少したが、例年の約6倍と多かった。延岡(8.0)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の56%、6～9歳が29%、10～14歳が9%、15～19歳が3%、20歳以上が3%であった。

### 月報告対象疾患の発生動向 8月

#### 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は56人(4.3)で、前月比124%と増加した。また、昨年8月(4.9)の89%と少なかった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数37人(2.9)で前月の約1.8倍、前年の約8割であった。日向(7.0)・宮崎市(3.3)保健所からの報告が多く、男性21人・女性16人で、20歳代が全体の約4割、30歳代が約2割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で前月の約7割、前年の約8割であった。全て女性で、20歳代が3人、40・50歳代がそれぞれ1人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で前月の約4割、前年の約2倍であった。30歳代の男性と女性が各1人であった。
- 淋菌感染症：報告数12人(0.92)で、前月及び前年と同程度であった。都城(2.5)保健所からの報告が多く、男性11人・女性1人で、20歳代が全体の半数を占めた。

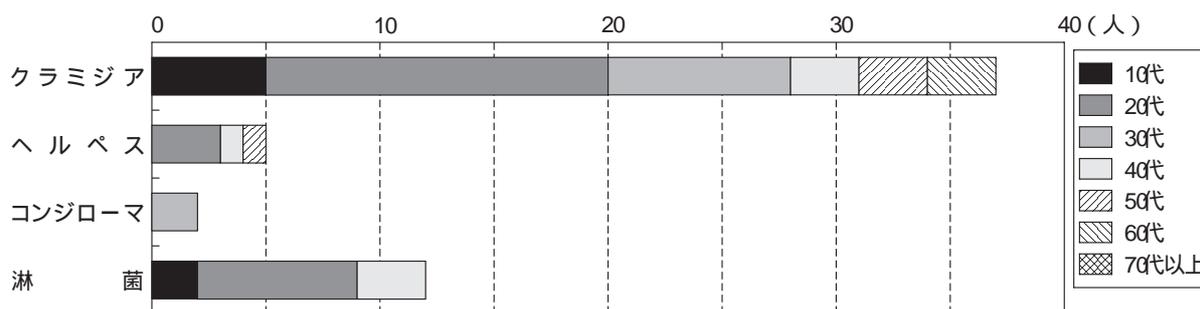


図 年齢別性感染症報告数(8月)

【全国】 定点医療機関総数：953

定点医療機関からの報告総数は4,179人(4.4)で、前月比95%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,242人(2.4)で前月比94%、性器ヘルペスウイルス感染症633人(0.66)で前月比94%、尖圭コンジローマ467人(0.49)で前月比91%、淋菌感染症837人(0.88)で前月比99%であった。

#### 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は40人(5.7)で前月比105%と増加した。また昨年8月(5.7)と同程度であった。

#### 《疾患別》

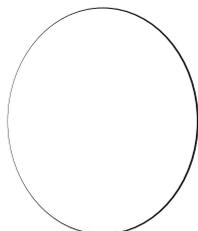
- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人(3.4)で、前月の約1.1倍、前年の約7割であった。宮崎市(11.0)・日南(4.0)保健所からの報告が多く、70歳以上が約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の約9割、前年の約4倍であった。10歳未満が全体の約8割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：464

定点医療機関からの報告総数は2,344人(5.1)で、前月比101%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,948人(4.2)で前月比104%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症352人(0.76)で前月比87%、薬剤耐性緑膿菌感染症44人(0.09)で前月比90%であった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## メディアの目



## メタボリックな夜

南日本新聞宮崎支局長

まえ だ あき と  
前 田 昭 人

8年ほど前、企画取材でタイの山岳少数民族の集落に滞在したことがある。サソリモ出た農家の板家で寝起きし、焼き畑など照葉樹林文化に鹿児島島の暮らしの源流を探ること数日。ある日、宿の主人の体格が立派なことに気づいた。身長170センチほどで筋肉が締まりムダな肉がない。年齢はまだ50代半ば過ぎだったが、既にリタイアして狩猟を楽しんでいた。

「さぞ長生きされるでしょうね」と息子に話を向けると、げげんな顔をされた。「父は10歳ごろから山で農業してきた。重労働だから、この辺の平均寿命は60代半ばですよ。だから50歳過ぎから隠居生活している」。

見た目は健康そのものに見えたが、山の生活では基本的な栄養が不足しているらしい。医者も民間の霊媒者のような人しかいなかった。医療や食生活の充実で、女性は86歳、男性も80歳に迫る日本の平均寿命のありがたさを思った。

時は移り、私があの宿の主人に近い年齢になった。半ば強制的に受ける春と秋の会社の健診では、なぜか身長が縮み167センチほど。一時75キロを超えた体重は70.8キロになったものの、腹囲は90センチ。肉はほとんど食べず、ビールもほどほどなのに、尿酸値が8.1と高く、10数年前から時々、痛風の発作に悩まされる生活だ。

そんな私に全国健康保険協会宮崎支部からお

知らせが届いた。40~74歳の公的医療保険加入者を対象に始まった特定健診・保健指導、いわゆるメタボ健診だ。数十日後、ようやく事務所に行き、保健師さんからパソコンに入った私の数値を基にしながら指導を受けた。

「毎日ウォーキングされているのですか、すごい」(事前調査で、前夜の酒を抜く散歩をウォーキングと書いただけなのだが)。「時々料理をされ、野菜も摂っておられてえらい」。

「でもお酒の飲み過ぎとタバコはいけません」。優しい保健師さんの表情が急に変わった。「週に2日は休肝日をつくる。禁煙パッチなどで禁煙する。約束できますね」。「は、はい」。「それから、目標体重は68キロ、腹囲は85センチですよ。今後半年間に6回電話して様子を確かめます。一緒に頑張りましょうね」。「はい」。

今日から頑張るぞーと心を入れ替えた。だが、こんな日に限って「今 食堂で飲んでまーす」とA新聞のB支局長から電話。誘惑に抗しきれず1時間後に合流。そこで焼酎を、2次会ではウイスキー、3次会でラム酒、日付が変わった中華料理店では焼きそばにビール。「メタボを放っておくと動脈硬化が進み、脳卒中などを起こすのですよ」。酔った頭に保健師さんの忠告が浮かんだ。医療費抑制、いや自分のために心したい。



## あなたできますか？

平成 20年度 医師国家試験問題より

( 解答は 67ページ )

- 1 . 低血糖をきたさないのはどれか。
  - a 褐色細胞腫
  - b 低出生体重児
  - c 糖尿病母体児
  - d 下垂体前葉機能低下症
  - e 糖原病 型( von Gierke病 )
- 2 . 産道感染が問題とならないのはどれか。
  - a 淋 菌
  - b B群レンサ球菌( GBS )
  - c 風疹ウイルス
  - d B型肝炎ウイルス
  - e 単純ヘルペスウイルス
- 3 . 仕事を持つ妊婦の保護のために法制度上認められているのはどれか。
  - a 産後 8 週間の休業
  - b 喫煙可能な職場からの異動
  - c タクシーを利用しての通勤
  - d 1 週間以内の有給休暇の追加
  - e 自己申告による休憩時間の延長
- 4 . 我が国の政府開発援助( ODA )で正しいのはどれか。
  - a 非政府援助よりも少ない。
  - b 二国間援助よりも多国間援助が多い。
  - c 二国間援助では貸与よりも贈与が多い。
  - d 二国間援助はアジア諸国に対するものが多い。
  - e 国際機関に対する拠出額は世界第 1 位である。
- 5 . 健康増進法で規定されていないのはどれか。
  - a がん登録
  - b 受動喫煙の防止
  - c 健康手帳の交付
  - d 市町村保健センターの設置
  - e 国民健康・栄養調査の実施
- 6 . 緑膿菌感染症で正しいのはどれか。
  - a 高圧酸素療法が有効である。
  - b 間質性肺炎を起こしやすい。
  - c 飛沫感染が主である。
  - d 日和見感染が多い。
  - e 市中肺炎に多い。
- 7 . IgA 腎症で腎機能低下の予測因子となるのはどれか。 2 つ選べ。
  - a 高血圧
  - b 高度蛋白尿
  - c 肉眼的血尿
  - d 血清 IgA 高値
  - e 血清補体 C 3 低値
- 8 . 誤っているのはどれか。
  - a 黄疸は眼球結膜で観察する。
  - b 閉塞性黄疸では皮膚掻痒が生じる。
  - c Gilbert症候群ではICG 試験は正常である。
  - d 黄疸は血中総ビリルビン値 1.5mg /dlで認められる。
  - e 溶血性黄疸では尿中ウロビリノーゲンが強陽性となる。
- 9 . 肺結核で入院中の患者に対する医療従事者の対応で誤っているのはどれか。
  - a 陽圧病室での診療
  - b 診察前後の手洗い
  - c 採血時の手袋着用
  - d 入室の際の N 95マスク着用
  - e 室外に出る患者へのサージカルマスク着用指示
10. 乳幼児突然死症候群( SIDS )について正しいのはどれか。
  - a 生後 1 か月以内に好発する。
  - b 夜間よりも昼間に起こりやすい。
  - c 上気道閉塞によって起こる。
  - d 剖検を行わずに診断できる。
  - e 「うつ伏せ寝をやめよう」キャンペーンによって減少した。

## 各都市医師会だより

### 西 白 杵 郡 医 師 会

9月10日から16日までは自殺予防週間であるが、7月と8月に高千穂保健所にて西白杵地域自殺対策協議会が開かれた。西白杵地区は県内でも自殺率が高く、自殺対策は行政、医療、保健福祉、教育、労働など多種多様な分野において緊急に取り組むべき課題となっている。まず山田保健所長より、西白杵地区自殺対策の現状として自殺率の推移、経済面の不安と自殺願望の調査結果等について述べられた。高千穂警察署長からは管内の自殺の概要として平成20年中は60歳代の男性の自殺者が多く、無職者で健康問題を苦しめての自殺が最も多いとの説明があった。今後の対応として9月の自殺予防週間などを活用して地域住民だけでなく医療関係者、福祉関係者等についても啓発活動を実施していく。特に、様々な活動の場において大綱に明記されてあるように、周りの人の悩みに気づき耳を傾ける、早めに専門家に相談するよう促す、温かく寄り添いながらじっくり見守るの3点を心がけることが重要である。また、自殺の背景にあるうつへの対応として、自殺の危険性の高い人を発見する機会が多いかかりつけ医が、うつ病の早期発見、早期治療の技術を身につける必要がある。しかし診断に苦慮したり、重症の場合などは直ちに専門医へ紹介することが最良である。(佐藤 元二郎)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

### 宮 崎 大 学 医 学 部 医 師 会

新型インフルエンザが流行期に入り、第一波のピークが10月に来ると言われています。厚生労働省は、人工呼吸管理が必要になる者は4万6千人と推定しています。人口比率で考えると、宮崎県で460人になります。このウイルスは呼吸器だけを冒すようですが、本当に重症者がこんなに発生するのでしょうか。大学病院では、どれくらいの数の患者に対応すればよいのか、心配の種は尽きません。(高崎 眞弓)

◇ ◇ ◇ ◇

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

いよいよ歴史的政権交代をしましたが、今後の医療政策の転換が楽しみであると同時に、不安感がぬぐえないように思っています。後期高齢者医療制度、電子レセプトの義務化、医師不足、地域医療再生基金の獲得について等々を当理事会でも熱く議論してきましたが、これらの諸問題に、新政権が如何なる解答を出すのかしっかりみつめていかねばなりません。

(山村 善教)

◇ ◇ ◇ ◇

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

第45回衆議院選挙が8月30日に投票、即日開票されました。結果は報道機関の予想通り、民

主党が30議席を獲得し圧勝、政権交代が実現することになりました。自民党は、18議席減らし11議席となり歴史的な敗北を喫し、結党以来の衆議院第一党の座を民主党に明け渡すことになりました。小泉構造改革、2代続けての政権投げ出し、相次ぐ閣僚の不祥事、経済不況など自民党の失政で国民の政治に対する不信が生まれ、この閉塞状態にある自民党に対し嫌気が差し、国民が政権交代による変革を望んだ結果だと思えます。

一方、自民党の大物議員が落選するような今回の逆風の中で、我が第3選挙区では、県医師連盟が推薦し当医師連盟が推薦した古川禎久候補が3回目の当選を果たされました。他候補を寄せ付けず13万票を獲得する圧勝でした。政治家としての人柄と地域に根ざした政治活動を日頃から続けておられる成果ではないでしょうか。

(飯田 正幸)

◇ ◇ ◇ ◇

### 延 岡 市 医 師 会

救急医療に関して、以前は医師会が仕事をしないため県立病院の医師が疲弊するといった、県の間違った意見を鵜呑みにした報道が多かったのですが、当医師会の取り組みや県北医療の現状についての広報活動をしてきた結果、最近地方紙の医療に関する記事が正確になってきました。延岡の実態を把握し、医療格差が現実にあ

ることや医師会の現状(会員総数が少ない,平均年齢が高い,更に70歳以上の会員も夜間急病センター勤務をしていること,消化管出血・脳梗塞の輪番制での診療等)を正確に報道してくれるようになりました。また,公民館長会議や市民公開講座等で市民へ直接語りかけることで医師会の現実を伝えております。今後は医療界,市民,マスコミ,そして国や県が理解し合うことがこの苦境を乗り切るのに必要なことだと切実に思う次第です。(木谷 道隆)

◇ ◇ ◇ ◇

### 日向市東臼杵郡医師会

健康で心ふれあう日向市民～元気のヒント見つけよう～をテーマに第14回日向市健康まつりが9月6日(日)日向市文化交流センターをメイン会場として開催されました。当医師会も「かかりつけ医相談」のブースを設け,まつりに参加しました。かかりつけ医運営委員の先生方の協力を得て,健康相談,血圧測定,骨密度測定等を行い,数あるブースの中でも人気が高く,終始手を休める暇もないくらい盛況でした。また当医師会員の二宮嘉正先生が「いつまでも元気に暮らしていくために」という演題で,ストレス社会の中での「こころの健康づくり」の大切さについて示唆に富んだ講演をされました。医療と健康づくりは切り離せない問題です。健康づくりへの市民の理解も年々深まってきているように感じました。(甲斐 文明)

◇ ◇ ◇ ◇

### 児 湯 医 師 会

9月になり,衆議院選挙で歴史的勝利した民主党が政権交代を果たし,医療制度はどうチェンジしていくのか,また,新型インフルエンザの大流行で医師会はどう対処していくのか等,杞憂することが多い中で,10月に行われる児湯医師会主催のミニバレーボール大会のために練習している私はKYだろうか。(蟻塚 高生)

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 都 市 ・ 西 児 湯 医 師 会

政権交代となり,今後の医療制度を含めどのような「変化」が押し寄せてくるのであろうか。政権にかかわらず,当面の我が医師会の課題は相変わらず医師会病院問題である。内科病棟の完全再開は当分かないそうにないのが現状である。奇跡でも起きない限り,地方の2次拠点病院への「安定的な医師の供給」はもうこの国ではありえないのかもしれない。(児玉 健二)

◇ ◇ ◇ ◇

### 南 那 珂 医 師 会

当地区では,4年程前より毎年8月に医師会,歯科医師会,薬剤師会合同で「三師会」という懇親の場を設けております。今回は医師会の担当で,峰松理事より新型インフルエンザについて話題提供がありました。他の会の先生方は,直接話を聞く機会も少なく勉強になったようです。

日頃接することの少ない医療関係者とお酒を飲んで語り合い,お互い顔のみえる関係をつくっていくこの会は,これからも続いていきます。(島田 雅弘)

◇ ◇ ◇ ◇

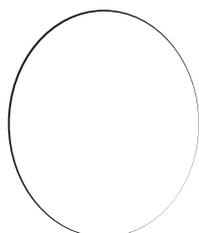
### 西 諸 医 師 会

現在,西諸では小林市立病院の医師削減が問題になっています。医師数削減による救急医療への影響だけでなく,通常の診療への影響も懸念されております。現在,医師会と市立病院との協力で,地域住民の診療に支障がないように協力体制について協議を行っております。以前も郡市医師会だよりに書かせていただきましたが,国立病院も県立病院もない西諸医療圏に対しては,県として,また大学病院として特別の対応が望まれるところであります。

(池井 義彦)

## 宮崎大学医学部だより

### 外 科 学 講 座 循環呼吸・総合外科学分野



おにつか としお  
鬼塚 敏男 教授

私たちの「宮崎大学医学部外科学講座循環呼吸・総合外科学分野」は、昭和 5 年 5 月に開講した旧宮崎医科大学外科学第二講座がその始まりとなっており、初代富田正雄教授、第 2 代古賀保範教授、そして現在の第 3 代鬼塚敏男教授に引き継がれております。

#### 教室の近況

鬼塚教授のご指導のもとに、臨床においては、極力術後合併症をなくし手術成績を上げるべく、あらゆる面から綿密な術前検討会を行ったうえで手術を施行し、また、術後報告においてその結果を分析・検討しております。鬼塚教授の「高度な手術手技の会得」、「地域に根差した医療の実践」、および「学生との膝を交えた教育」の理念のもと、高度で最良の医療を提供し、かつ地域医療に積極的に貢献し、さらに学生への教育にも力を注いでおります。

現在の医局員数は 63 名です。また、当教室の同門会である清友会には、現在 108 名の先生方にご賛同をいただいております。年 1 回の清友会総会と懇話会(大学病院および関連病院勤務の医局員が学術演題を持ち寄り、発表と討論を行っております)を行い、関連病院の先生方と医局員との親睦・交流を深めております。

なお、今後の教室の主な行事として、2010 年 6 月 1 日、18 日に第 30 回日本静脈学会総会を主催する予定になっています。先生方の御参加をお待ちしております。

#### 診 療

大学での診療は、臓器別に 3 つのグループ制をとっており、呼吸・縦隔・乳腺・食道外科(1 グループ)を清水哲哉講師・富田雅樹・綾部貴典らが、心臓血管外科(2 グループ)を矢野光洋講師・長濱博幸・松山正和・古川貢之らが、消化器・内分泌・一般外科(3 グループ)を河野文彰助教・和田俊介らが担当しています。最近では、年間約 60 例の手術症例を行っており、手術成績も年々向上しております。

#### 研 究

臨床研究では、1 グループは呼吸・縦隔疾患に対する胸腔鏡下手術、悪性胸水に対する温熱化学療法効果とアポトーシスの解析、縦隔鏡による診断拡大、肺癌に対する導入化学療法、免疫染色による肺癌病態の解析等の研究を進めています。2 グループは、機能温存を目的とした弁膜症手術、症例に対応した冠動脈バイパス術(on-pump と off-pump)、大動脈手術における脳合併症や脊髄麻痺の予防対策等の研究を行っております。大動脈疾患に対する血管内ステント治療も積極的に行い、多くの優れた実績を残しております。3 グループは、重度の循環・呼吸器疾患を合併した症例の消化器疾患や内分泌疾患に対する低侵襲を旨とした鏡視下手術の研究、および肝臓癌に対するマイクロ波・ラジオ波焼灼術による遠隔成績の研究などを行っております。大学院生として、渡邊章が、「マウス腫瘍細胞皮下移植モデルにおいて、腫瘍免疫に対して抗体を用い、腫瘍細胞の拒絶反応を誘導する実験」をテーマとし、近々学位取得の予定です。また、2007 年 4 月から松山正和が、大血管に対しての血管内ステント治療をテーマに学位取得を目指しています。

#### 地域医療

私たちの教室の先輩で元県立日南病院長の柴田紘一郎先生は、2009 年 4 月より地域医療に貢

献できる医師を養成するため、宮崎大学医学部地域医療連携室の特任教授に就任され、ご活躍中です。2009年の関連病院の主な人事として、県立日南病院外科に出向中の峯一彦先生が4月より同副院長に就任され、また、長年にわたり消化器・内分泌・一般外科を率いてきた関屋亮先生が7月より宮崎善仁会病院に勤務しております。

地域医療貢献のため、県立延岡病院、県立日南病院をはじめとして県内18施設へ4名の医師が当教室より派遣されておりますが、それぞれの施設で地域に密着した医療を展開しております。

最近、大学病院医師の関連病院や出向病院からの引き揚げが問題となっており、よく他教室の先生から「先生のところの教室は、出向・派遣先を引き揚げずにやりくりできますね」と言われます。確かに人員配分がきびしいのが実情ではありますが、なんとか地域医療の崩壊を防ぐためにも、がんばる所存です。新臨床研修制度により、入局する医師確保に難渋していますが、しっかりとした卒前・卒後教育を行いながら、医師確保に邁進する所存です。医師会の皆様には、今後ともよろしくお願い申し上げます。

( 医局長 ^{ながはま}長濱 ^{ひろゆき}博幸 )

## お知らせ

### 会員交流用のメーリングリスト加入のご案内

宮崎県医師会では、インターネットのメーリングリストを利用して様々な情報を配信しています。また、会員同士の情報交換にも使っていただいています。

会員の先生でしたらどなたでも加入できます。ご希望の先生は下記まで「メールアドレス」と「お名前」をご連絡ください。

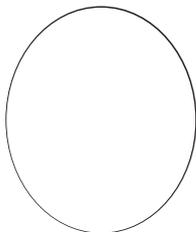
宮崎県医師会 office @ m iyazakim ed or.jp

#### 〔メーリングリストとは〕

メーリングリストとは、インターネットの電子メールを使って大勢の人とコミュニケーションすることのできる仕組みです。

メーリングリストのアドレスにメールを送るとメンバー全員にメールを届けることができます。また、そのメールに返信するとそのメールもメンバー全員に届きます。(個人的なメールを送信する場合はご注意ください)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り ( 外 科 医 会 )



たなか としまさ  
田中 俊正 会長

外科医会長の田中です。  
医会の内容と活動状況につ  
いてご報告します。

まず、県外科医会の会員  
数は、宮崎地区 69人、都城・  
北諸 34人、延岡 10人、日向  
12人、児湯 9人、西都・西  
児湯 4人、南那珂 11人、西  
諸 7人、西臼杵 0人に宮崎  
大学医学部の 15人を加え 171  
人で構成されています(平成 2 年 4 月 1 日現在)。平成 1 年は 209人、平成 16 年は 197人でしたので漸減しているようです。このことは、日本外科学会会員数の減少パターンと似ています。日本外科学会会員数は 1996(平成 8 年)の全国 39,492人をピークに今年 3 月 1 日現在 38,342人と報告されています。この原因は、以前から言われていますが外科医の仕事は 3 K or 5 K といわれ敬遠されたことと、新臨床研修医制度にあると私は思っています。当県では宮崎大学医学部の会員数の減少そのものが反映しています(宮崎大学の会員数、50人(平成 6)、34人(平成 11)、25人(平成 16)、15人(平成 21)です!!)。地域医療の崩壊、多くの医療施設の悲鳴が聞こえる様です。

会の活動状況を今年度の事業計画(下記)で説明します。

夏期講演会は 8 月 7 日に催され、例年比較的若い先生方の症例発表が主で、1 題の演題が提示され、真夏の夜遅くまで演者、指導者を含め熱心に討論がなされました。

11 月 7 日の秋期講演会には、宮崎大学医学部泌尿器科賀本敏行教授のご講演が決定しております。泌尿器科における最近の話題と一般外科医にとって見落としとしてはいけないポイントをお話していただける様お願いしてあります。会員外の先生方の聴講を歓迎致します。

6 の日本外科医会のことですが、ご存知の様に外科には日本外科学会(明治 32(1900)年誕生)と臨床外科学会(平成 10(1998)年、日本外科学会より分離)がありますが、この二つの学会とは一線を画して(?)外科医の医療環境改善を目的として(主に外科開業医のことを考える会として)平成 6 年に発足したものです。

以上、本年の事業計画を説明しましたが、「将来の見通しの不透明さ」、「低医療費政策」、「外科医にとっても労働条件の悪さ」等、明るい話題はなかなか見つかりませんが、私共は自分の専門の研鑽は当然のこと、医療全体のことを考えながら全国と足並みを揃えて動きたいと思っています。

周囲に改めて我々外科医の必要性を認識してもらうためにもかねてから私が主張している“w holistic surgeon”を目指して社会的責任を果たそうと思います。(田中 俊正)

### 平成 2 年度宮崎県外科医会事業計画

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 理事会の開催            | 3) 秋期講演会(特別講演・社保指導)      |
| 2. 理事・評議員会の開催        | 4) 冬期講演会(講演会・総合討論・社保指導)  |
| 3. 総会の開催             | (2月の土曜日)                 |
| 4. 学会の開催             | 5. 九州山口外科系臨床医会事業への参加協力   |
| 1) 合同学会(労災部会・整形外科医会) | 6. 日本外科医会事業(認定医制度)への参加協力 |
| 2) 夏期講演会(会員発表)       |                          |

## 「新春随想」原稿募集

平成 2年 1, 2月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。  
この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願い致します。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。  
本文に関連した写真・イラスト等( 1枚のみ, カラー印刷はできません )  
も掲載できます。

字 数 800字以内( 字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがあ  
りますのでご承知ください )

締 切 平成 2年 12月 10日(木)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

原稿には「新春随想」と明記してください。

ご投稿の原稿が他紙に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせくだ  
さい。

掲載については, 広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

原則として, 原稿はお返しいたしません。返戻を希望される方はその旨  
ご指示下さい。

日州医事は, 会員以外( マスコミ・行政・図書館 )等にも配付しています。

原稿は, FAX, 電子媒体にても受け付けております。テキスト  
形式で保存し, ディスクまたはメールにて下記へお届けくだ  
さい。( タイトル, ご氏名を先頭に付記してください )

宛先: 宮崎県医師会広報委員会

新春随想係

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

TEL 0985 - 22 - 5118 FAX 0985 - 27 - 6550

E-mail: genko@m iyazaki. med. or. jp

## 医師・看護職員等不足に関するアンケート調査結果について

地域における医師不足，それに伴う地域医療の崩壊は，宮崎県において解決すべき喫緊の課題であります。国も医療費抑制策による弊害を認めたのか，補正予算において地域医療再生基金 3,100 億円（2 次医療圏単位で 100 億円× 10 か所，30 億円× 70 か所：後者は後に 1 か所 25 億円へ減額し対象地域を拡大）を計上しました。県医師会では，県の作成する再生計画に役立て，また事業のフォローアップを行う基礎資料とするため，県内全病院を対象に平成 2 年 7 月に表 1 の緊急

調査を行い，全 14 施設から回答を得ましたので，結果を報告いたします。

（上記の地域医療再生事業は政権交代に伴い 9 月 15 日時点では実施が確定しておりませんが，厚生労働省は「政権がどうであれ地域医療に反映させる」との意向を示しています）

表 1 にアンケートの質問内容，表 2 にアンケート結果，また参考資料としてみやざき医療ナビによる専門医延数を掲載します。

表 1 アンケート質問内容

1. 現在，貴病院において，地域のニーズ（入院・外来における 2 次～ 3 次医療）に応えるために補充する必要のある医師数を科目別にご記入下さい。	小児科 ( 名 )	眼科 ( 名 )
	放射線科 ( 名 )	その他 ( : 名 )
	精神科 ( 名 )	
	リハビリテーション ( 名 )	2. 現在，貴病院において，地域医療のニーズに応えるために補充する必要のある看護職員数をご記入下さい。
I 内科系	その他 ( : 名 )	看護師 ( 名 )
1) 一般内科医（頻度の高い多疾患に対応できる医師） ( 名 )	外科系	准看護師 ( 名 )
	1) 一般外科医（頻度の高い外科疾患に対応できる医師） ( 名 )	3. その他，具体的なコメントの採用要望があればご記入下さい。
2) 専門医	2) 専門医	
消化器内科（上下部消化管） ( 名 )	消化器外科 ( 名 )	註：「一般内科医」とは，外来等におけるトリアージ機能ではなく，胸痛，腹痛，頭痛，肺炎，糖尿病など頻度の高い疾患に対して，入院・外来での検査，治療に対応できる医師を指します。
消化器内科（肝胆系） ( 名 )	呼吸器外科 ( 名 )	「一般外科医」とは，上記と同様に，外傷，虫垂炎，ヘルニア，骨折等に幅広く対応できる医師を指します。
循環器内科 ( 名 )	心臓血管外科 ( 名 )	
呼吸器内科 ( 名 )	脳神経外科 ( 名 )	
腎臓内科 ( 名 )	小児外科 ( 名 )	
神経内科 ( 名 )	整形外科 ( 名 )	
血液内科 ( 名 )	形成外科 ( 名 )	
心療内科 ( 名 )	婦人科 ( 名 )	
内分泌・代謝内科 ( 名 )	産科 ( 名 )	
アレルギー科 ( 名 )	乳腺外科 ( 名 )	
膠原病・リウマチ ( 名 )	泌尿器科 ( 名 )	
	耳鼻咽喉科 ( 名 )	
	麻酔科 ( 名 )	
	皮膚科 ( 名 )	

表 2 アンケート調査結果

(単位：人)

二次医療圏		(20 宮崎 北部 病院)	(14 日向 入郷 病院)	(40 宮崎 東諸 病院)	(11 西都 児湯 病院)	(12 日南 串間 病院)	(29 都城 北諸 病院)	(16 西 諸 病院)	(142 合 病院 計)
内科系 一般内科医	一般内科医 (頻度の高い多疾患 に対応できる医師)	15	15	36	13	10	20	13	122
内 科 系 専 門 医	消化器内科 (上下部消化管)	7	6	11	3	2	8	1	38
	消化器内科(肝胆系)	3	3	6	2	2	3	1	20
	循環器内科	4	7	10	9	1	9	5	45
	呼吸器内科	3	5	11	2	0	4	4	29
	腎臓内科	0	1	6	2	4	1	1	15
	神経内科	4	2	1	1	1	4	2	15
	血液内科	0	1	1	1	0	2	1	6
	心療内科	0	0	1	1	0	4	0	6
	内分泌・代謝内科	1	1	4	1	1	3	1	12
	アレルギー科	0	1	0	0	0	0	0	1
	膠原病・リウマチ	0	1	2	1	0	1	0	5
	小児科	1	6	3	3	0	2	3	18
放射線科	2	4	8	2	0	3	1	20	
精神科	5	1	4.5	1	2	4	3	20.5	
リハビリテーション	2	3	4	0	2	4	2	17	
合 計		47	57	108.5	42	25	72	38	389.5
二次医療圏		(20 宮崎 北部 病院)	(14 日向 入郷 病院)	(40 宮崎 東諸 病院)	(11 西都 児湯 病院)	(12 日南 串間 病院)	(29 都城 北諸 病院)	(16 西 諸 病院)	(142 合 病院 計)
外科系 一般外科医	一般外科医 (頻度の高い外科疾患 に対応できる医師)	5	8	29	5	8	12	5	72
外 科 系 専 門 医	消化器外科	4	5	11	4	4	7	4	39
	呼吸器外科	0	2	4	2	0	3	0	11
	心臓血管外科	1	1	1	1	1	2	0	7
	脳神経外科	1	9	8	6	0	4	1	29
	小児外科	0	1	1	0	0	1	0	3
	整形外科	2	9	11	6	2	8	6	44
	形成外科	0	1	1	0	1	0	0	3
	婦人科	0	1	3	1	0	1	2	8
	産科	1	3	1	0	1	2	2	10
	乳腺外科	0	2	5	0	0	1	0	8
	泌尿器科	0	3	1	1	1	0	0	6
	耳鼻咽喉科	0	2	1	1	1	1	0	6
麻酔科	1	6	13	1	1	1	3	26	
皮膚科	0	1	0	2	1	2	0	6	
眼科	1	1	4	1	1	1	0	9	
合 計		16	55	94	31	22	46	23	287
二次医療圏		(20 宮崎 北部 病院)	(14 日向 入郷 病院)	(40 宮崎 東諸 病院)	(11 西都 児湯 病院)	(12 日南 串間 病院)	(29 都城 北諸 病院)	(16 西 諸 病院)	(142 合 病院 計)
看護師		64	48	106.5	97	49	195	56	615.5
准看護師		20	13.5	10	20	14	51	18	146.5
合 計		84	61.5	116.5	117	63	246	74	762

参考資料 1 みやざき医療ナビによる専門医延数(病院：平成 2 年 2 月時点)

この調査は、各病院から県医療薬務課に提供され、ホームページ上で公表されたものを集計している。

(単位：人)

	内科 (社)日本内科学会)	内分泌代謝科 (社)日本内分泌学会)	呼吸器外科 (特定非営利活動法人日本呼吸器外科学会)	呼吸器外科 (特定非営利活動法人日本胸部外科学会)	呼吸器 (社)日本呼吸器学会)	呼吸器 (特定非営利活動法人日本呼吸器復健学会)	気管支鏡 (社)日本消化器内視鏡学会)	消化器内視鏡 (社)日本消化器内視鏡学会)	消化器外科 (有限責任中間法人日本消化器外科学会)	消化器病 (社)日本消化器病学会)	循環器 (社)日本循環器学会)	循環器 (特定非営利活動法人日本心臓血管外科学会)	心臓血管外科 (特定非営利活動法人日本胸部外科学会)	心臓血管外科 (特定非営利活動法人日本心臓血管外科学会)	心臓血管外科 (特定非営利活動法人日本心臓血管外科学会)	小児科 (社)日本小児科学会)	小児外科 (特定非営利活動法人日本小児外科学会)	神経内科 (有限責任中間法人日本神経学会)	肝臓 (社)日本肝臓学会)	腎臓 (社)日本腎臓学会)	血液 (社)日本血液学会)	透析 (社)日本透析医学会)	感染症 (社)日本感染症学会)	糖尿病 (社)日本糖尿病学会)	老年病 (社)日本老年医学会)	
宮崎東諸 医 療 圏	510	40	60	60	130	100	361	210	370	300	80	80	80	170	10	110	90	90	80	130	80	140	10			
宮崎県北部 医 療 圏	40	10	00	00	10	00	80	40	70	40	20	20	20	80	00	30	00	00	10	00	10	00	10	10	00	
日向入郷 医 療 圏	40	10	00	10	00	00	50	10	10	00	00	00	00	10	00	00	00	00	00	00	00	00	00	20	00	
日南・串間 医 療 圏	110	00	10	10	10	00	20	20	40	10	00	00	00	50	00	30	10	00	10	20	00	00	00	00	50	
西都児湯 医 療 圏	50	00	00	00	10	10	10	10	20	10	10	10	00	40	00	10	00	00	00	10	00	10	00	10	00	
西 諸 医 療 圏	110	00	00	00	10	00	50	30	50	30	00	00	00	10	00	00	00	00	30	10	50	10	20	00		
都城北諸 県 医 療 圏	102	20	00	00	32	12	50	40	63	75	10	20	10	00	00	10	80	10	00	00	02	25	00			
合 計	962	80	70	80	202	122	621	360	623	465	120	130	110	360	10	190	180	130	110	210	102	225	60			

(再掲)

宮崎立 院	50				10	10	30	30	30	30	10	10	10	40		10	10	20	10	20	10					
延岡立 院					10		30	30	30	30	20	20	20	50		10			10							
日南立 院	60		10	10	10		10	20		10				10		20					10					
宮崎大学医学 部 附 属 病 院	190	20	40	40	60	40	120	100	190	110	50	50	50	110	10	50	50	40	40	70	40	50				

参考資料 2 みやざき医療ナビによる専門医延数(病院：平成 2 年 2 月時点)

(単位：人)

	アレルギー専門医 (社)日本アレルギー学会	リウマチ専門医 (有限責任中間法人)日本リウマチ学会	外科専門医 (社)日本外科学会	整形外科専門医 (社)日本整形外科学会	形成外科専門医 (社)日本形成外科学会	脳神経外科専門医 (社)日本脳神経外科学会	乳腺専門医 (有限責任中間法人)日本乳癌学会	産婦人科専門医 (社)日本産科婦人科学会	眼科専門医 (社)日本眼科学会	耳鼻咽喉科専門医 (社)日本耳鼻咽喉科学会	皮膚科専門医 (社)日本皮膚科学会	泌尿器科専門医 (社)日本泌尿器科学会	泌尿器科専門医 (社)日本泌尿器科学会	放射線科専門医 (社)日本医学放射線学会	核医学専門医 (有限責任中間法人)日本核医学会	麻酔科専門医 (社)日本麻酔科学会	救急科専門医 (有限責任中間法人)日本救急医学会	口腔外科専門医 (社)日本口腔外科学会	病理専門医 (社)日本病理学会	細胞診専門医 (社)日本細胞学会	臨床遺伝専門医 (有限責任中間法人)日本臨床遺伝学会	超音波専門医 (社)日本超音波医学会	漢方専門医 (社)日本東洋医学会
宮崎東諸 県医療圏	00	180	730	520	10	180	30	306	210	190	91	170	80	380	20	330	70	40	70	50	20	40	20
宮崎県北部 医療圏	10	20	130	110	00	30	20	90	10	40	30	20	40	40	00	50	30	00	10	10	00	00	20
日向入郷 医療圏	00	00	100	80	00	20	00	20	00	00	10	10	00	20	00	30	00	00	00	00	00	00	00
日南・串間 医療圏	00	10	90	60	00	30	10	50	10	20	20	30	00	20	00	40	10	00	10	10	00	10	00
西都児湯 医療圏	00	10	80	30	00	20	00	00	10	00	00	10	10	30	00	10	00	00	00	00	00	00	00
西医療 圏	10	50	70	90	10	40	10	10	00	00	20	30	50	00	00	50	00	00	00	00	00	00	00
都城北諸 県医療圏	00	320	180	120	10	40	10	30	80	20	01	80	10	620	00	111	30	10	00	00	00	10	00
合 計	20	302	1380	1010	30	360	80	506	320	270	172	350	190	552	20	621	140	50	90	70	20	60	40

(再掲)

宮崎立 院		30	80	40		20		50	10	30	10	30	20	40		60	10	10	20	50	10		
延岡立 院	10		80	30		20	20	50		20	10	10		20		20	30		10	10			
日南立 院		10	40	20		20		30	10	10	10	10		20		20			10	10			
宮崎大学医学 部附属病院		80	280	190	00	50		170	130	140	70	100	30	150	20	160	40	30	40		10		

## 薬事情報センターだより ( 269 )

## 新薬紹介( その 31 )

今回は 6 月に薬価収載されました経口用カルバペネム系抗生物質製剤オラペネム小児用細粒 10%( 一般名 : テピペネム ピボキシル ) と持効性抗精神病剤リスパダール コンスタ筋注用 25mg ・ 37.5mg ・ 50mg( 一般名 : リスペリドン ) について紹介したいと思います。

オラペネム小児用細粒 10%( 一般名 : テピペネム ピボキシル )

オラペネム小児用細粒 10%( 一般名 : テピペネム ピボキシル )( 以下 , 本剤 ) は明治製菓株式会社が開発した経口カルバペネム系抗生物質製剤です。本剤はプロドラッグであり , 経口吸収後 , 活性本体であるテピペネムに変換され抗菌活性を示します。適応症は肺炎 , 中耳炎及び副鼻腔炎の 3 疾患で , 近年小児の感染症治療上問題となっているペニシリン耐性肺炎球菌 , マクロライド耐性肺炎球菌及びインフルエンザ菌に対して強い抗菌力を有します。本剤はこれら耐性菌の増加により既存の経口抗菌薬で治療に難渋している上記 3 疾患に対して 98.3% , 98.0% 及び 80.6% と優れた臨床効果を示しました。しかし , 本剤はカルバペネム系抗菌薬であることから , 第一選択薬となることが少ない抗菌薬であり , 耐性菌の出現防止の観点からも容易な処方とは避けるべきと考えられます。そのため , 「他の抗菌薬による治療効果が期待できない症例に限り使用すること」との記載があり , 本剤の臨床的位置付けを考慮の上 , まずは各適応疾患の標準治療薬の使用を推奨し , 適正使用を促すことが重要であると考えます。

本剤は適正使用の徹底を条件に , 初の経口カルバペネム系抗菌薬として小児感染症治療に貢献し , 小児外来治療の幅を広げる可能性をひめた薬剤として期待されます。

リスパダール コンスタ筋注用 25mg ・ 37.5mg ・

50mg( 一般名 : リスペリドン )

リスペリドン持効性懸濁注射液( 以下 , 本剤 ) は , 本邦において統合失調症を適応症として承認されているリスペリドンを , マイクロスフェアを用いて持効化した , 世界で最初の非定型抗精神病薬の持効性注射剤です。

本剤は , 通常成人には 1 回 25mg を 2 週間隔で臀部筋肉内に投与します。なお , 初回量は 25mg とし , その後症状により適宜増減しますが , 1 回量は 50mg を超えないこととなっています。過去にリスペリドンでの治療経験がない場合には , まず , 経口リスペリドン製剤を投与し忍容性を確認した後に本剤を投与します。なお , 初回投与から 3 週間は経口抗精神病薬を併用する必要があります。

本剤は , 国内第 相臨床試験においてリスペリドン錠と同様な治療効果を示し , 長期投与試験において精神症状に対する効果が 48 週間安定して維持されました。本剤の副作用の頻度はリスペリドン錠と同様でしたが , プロラクチン値は低値の傾向が示されました。なお , 本剤投与により軽度な注射部位疼痛が認められましたが , ほとんどが治験開始初期に発現し , 投与を継続しても 1 例を除いてすべて 1 か月以内に回復しました。

本剤は , 服薬の煩雑さが回避可能でアドヒアランスを向上させることで , 再発の抑制が期待されるとともに , 統合失調症患者の社会復帰あるいは地域社会での治療継続に向けて有意義かつ新たな選択肢になると考えられます。

( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史 )

資料提供・協力

明治製菓株式会社( オラペネム小児用細粒 10% )  
ヤンセンファーマ株式会社( リスパダール  
コンスタ筋注用 25mg ・ 37.5mg ・ 50mg )

## 各種委員会

## 介 護 保 険 委 員 会

と き 平成 2年 8月 20日(木)

ところ 県医師会館

河野副会長の挨拶の後、牛谷委員長の進行で協議を行った。

## 協 議

## 1 . 認知症地域医療支援事業について

## 1 ) 認知症サポート医養成研修について

認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言等を行い専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる「認知症サポート医」を養成する事業である。平成 19年度 4名、20年度 6名の先生に研修に行っていたが、今年も 5名の先生方に研修に行っていた。

## 2 ) かかりつけ医認知症対応力向上研修

かかりつけ医が適切な認知症診断の知識・技術を得るための、厚労省のプログラムに沿った研修である。修了された方には県知事より修了証が発行される。「認知症サポート医」に講師になっていただき、3回開催する。昨年より内容を易しくし、昨年受講された先生も再度受講していただけるように配慮する。

## 3 ) 普及啓発推進事業

昨年度はパンフレットを作成した。主な内容は前述の「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を修了し掲載を承諾した医療機関名の一覧であり、地域包括支援センターを中心に配付した。なかなか好評で引き合いも多かったため、本年度も作成する。

## 2 . 主治医研修会について

例年 3か所(宮崎・都城・延岡)で開催していたが、今回からテレビ会議での開催も認められることになったので、2月頃、宮崎(県医師会館)で開催し、テレビ会議システムで各郡市医師会に放映することになった。開催回数を 1回に減らす分、中身の濃いものにし、たくさん先生方に来ていただけるよう工夫する。

## 3 . 諮問事項について

諮問事項は「主治医意見書の精度向上のための取組み」、「がん終末期のケアマネジメントの現状と問題点」である。答申の基礎資料にするために、医師向け、ケアマネジャー向けにアンケートを実施することになった。

出席者 - 牛谷委員長、山路副委員長、佐藤・  
鮫島・児玉・川越・池井・鳥取部・  
岡田・谷口委員

(県医) 河野副会長、立元・石川常任理事、  
矢野理事、小川課長、久永係長

## 第 10 回宮崎県医師会医家芸術展

理事 ^{たか}高 ^{はし}橋 ^{まさ}政 ^み見

今回で第 10 回を迎えました医家芸術展を 8 月 12 日(水)から 16 日(日)まで県立美術館県民ギャラリーにて開催いたしました。今回は 56 名の医師会員及びご家族の方々より書道・写真・絵画の 3 部門に 114 点の応募をいただきました。また猛暑の中にも拘らず入場者は 5 日間で 1,400 人を超え、回を重ねる毎に県民の間に浸透してきたことが窺えます。

開催期間中の入場者数

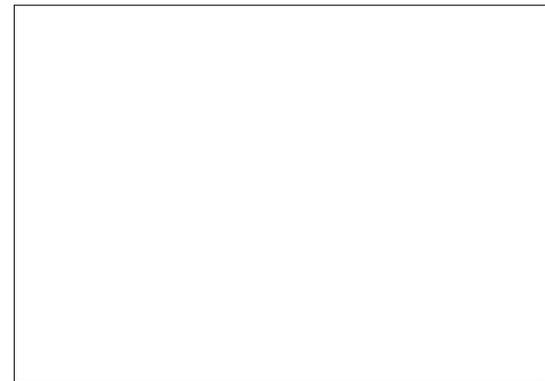
12 日(水) 268 人, 13 日(木) 233 人, 14 日(金) 274 人  
15 日(土) 327 人, 16 日(日) 372 人

5 日間 計 1,474 人

来場者の方々の感想も多数書かれてあり、それぞれに「素晴らしい作品に感動した」との声をいただきました。一部ですが感想を紹介いたします。

- 毎年楽しみにしています。娘も興味深く拝見させていただいたようです。
- 毎年立派な作品を拝見させていただき有難うございました。ただ感激と目を見張るものばかりです。
- 色々な作品に一度に出会えるので、他のところとは随分違う展示だけど、おもしろく楽しく感動できました。家族一人ひとり個性が違うので、好きな作品も違いましたが、そのことを話しあったりして充実した時間を過ごせました。
- 毎年みせてもらっています。先生方は毎日お忙しいのに素晴らしい作品に又来年も期待しています。お体に気をつけてがんばってください。

作品を通して、診療時とは違う医師個人の個性を垣間見ることが出来ますし、またこの芸術



展もこのような皆様の声を励みに、回を重ねる毎に成長させていただいております。

今回も世話人として藤木浩先生( 絵画 ), 押川紘一郎先生( 写真 ), 弓削三重子様( 書道 )に多大なご尽力をいただきました。深く感謝申し上げます。

なお、作品の一部は作者のお許しを得て、日州医事の表紙を飾ることになっています。

また、医家芸術展の初日に出展者の方々にお集まりいただいて、意見交換会を開催しました。出展者の思いなど出席者全員のご意見をお伺いできて、とても良い交換会となりました。その折に 10 回連続出展いただいた方々に感謝状をお贈りしましたので、ここに皆様をご紹介します。

写真：楠元正輝先生、竹尾康男先生( 元世話人 ), 田崎力先生、前田俊二先生、松崎武壽先生  
書道：岡村公子先生、尾上孝子様、谷脇かおる様、弓削和子様、弓削三重子様( 世話人 )  
絵画：齋藤宰先生、長沼弘三郎先生、長沼恭子様、橋口哲美先生( 元世話人 ), 吉山絢子様

皆様のご協力で医家芸術展が今後ますます発展していくことを念じております。

## 初期医師臨床研修 / 修了後専門研修説明会 in みやざき

(第 1 回)と き 平成 27年 7月 4日(土)

ところ 県医師会館

(第 2 回)と き 平成 27年 8月 16日(日)

ところ 宮崎観光ホテル

県臨床研修運営協議会主催により病院説明会および懇談会を 2 回開催した。

第 1 回目は、宮崎大学医学部学生・研修医を対象として 7月 4日(土)に本会館で開催した。古賀委員の司会により開会、稲倉協議会長(代理河野委員)挨拶の後、宮崎大学医学部附属病院卒業臨床研修センターの小松委員よりマッチングスケジュールの説明、各基幹型臨床研修病院による研修プログラムのプレゼンテーション、その後、基幹型および協力型臨床研修病院の各ブースでの個別説明会が行われ、参加施設は計 15施設で、20名の学生・研修医が参加した。

第 2 回目は、県内外の医学部学生・研修医等を対象として 8月 16日(日)に宮崎観光ホテルで開催した。古賀委員の司会により開会、稲倉協議会長および岡山協議会副会長挨拶の後、各基幹型臨床研修病院および希望する協力型臨床研修病院等による研修プログラムのプレゼンテーション、その後、基幹型および協力型臨床研修病院等の各ブースでの個別説明会が行われ、参加施設

は計 2施設で、2名の学生・研修医等が参加した。

いずれも説明会終了後に懇談会を開催し、先輩医師・参加施設関係者との意見交換会が行われた。

### 参加施設

宮崎大学医学部附属病院

県立宮崎病院

県立日南病院

県立延岡病院

古賀総合病院

宮崎生協病院

国立病院機構宮崎東病院( 2 回目のみ )

宮崎市郡医師会病院( 2 回目のみ )

潤和会記念病院( 2 回目のみ )

宮崎善仁会病院

野崎東病院

国立病院機構都城病院

都城市郡医師会病院

藤元早鈴病院

海老原記念病院

美郷町国民健康保険西郷病院

千代田病院

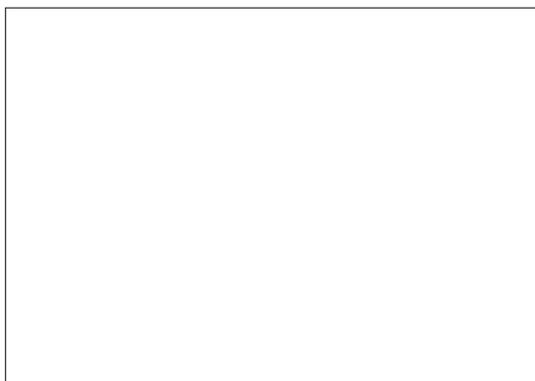
串間市民病院( 2 回目のみ )

きよひで内科クリニック( 2 回目のみ )

高千穂町国民健康保険病院( 2 回目のみ )

五ヶ瀬町国民健康保険病院( 1 回目のみ )

ドクターバンク無料職業紹介所( 宮崎県医師協同組合 )( 2 回目のみ )



## 県糖尿病対策推進会議幹事会

と き 平成 27 年 9 月 10 日(木)

ところ 県医師会館

宮崎県糖尿病対策推進会議は、糖尿病の発症予防、合併症予防等の糖尿病対策を推進するため、宮崎県医師会、日本糖尿病学会九州支部、日本糖尿病協会宮崎支部が中心となり、その他関係団体の協力を得ながら活動を行っている。

稲倉会長の挨拶の後、長倉幹事の司会進行により議事を進行した。

### 1. 新役員について

新たに宮崎糖尿病懇話会から中津留邦展先生、宮崎大学医学部から水田雅也先生に幹事に就任していただくことが了承された。

### 2. 平成 26 年度事業報告

昨年度は、世界糖尿病デー(11月14日)に合わせ、県庁のブルーライトアップ、宮日生活情報誌「きゅんと」への記事掲載、山形屋四季通りでの糖尿病無料検診・健康相談を行った。

### 3. 平成 27 年度事業について

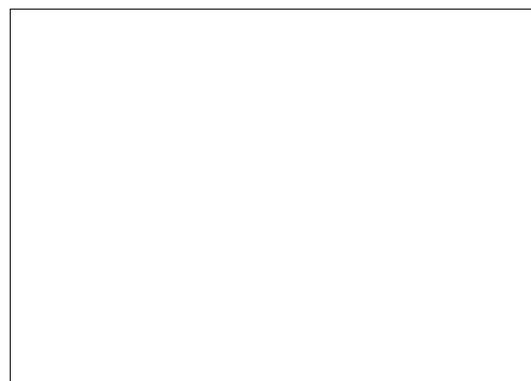
本年度も各構成団体が世界糖尿病デーに合わせて様々な企画を行う。なお、本年度はブルーライトアップに対する日本糖尿病協会からの補助金が減額されたが、代わりに製薬メーカーからいくつかの企画に協賛の申し出があり、ありがたく受け入れることが決まった。

○市民公開講座：11月14日(土)に JA -A ZM ホールで開催する。堅苦しくなく楽しく聞いていただきたいと考え、内容を「おいしく食べる日本料理」、「糖尿病と楽しい運動」とする。

○ブルーライトアップ：11月9日(月)～15日(日)に県庁本館を、糖尿病啓発のシンボルカラーである青色にライトアップし、11月14日(土)には点灯式やコンサートを開催する。

○糖尿病無料検診・相談：11月8日(土)に山形屋四季ふれあいモールで行う。

○ウォークラリー：「歩いて学ぶ糖尿病ウォー



クラリー in Miyazaki」と題し、10月25日(日)に市民の森公園(宮崎市)にて開催する。初めての開催である。

○糖尿病診療のための小講習会：西諸地区、南那珂地区で2月頃に開催する予定である。

### 出席者 -

稲倉会長(県医師会)

河野副会長(県医師会)

栗林副会長(日本糖尿病学会九州支部)

鎌田副会長代理(日本糖尿病協会宮崎支部)

中村幹事(日本糖尿病学会九州支部)

年森幹事(日本糖尿病学会九州支部)

中山幹事(県泌尿器科医会)

田代幹事(県薬剤師会)

串間幹事(県看護協会)

酒元幹事(県栄養士会)

日吉幹事(日本健康運動指導士会宮崎県支部)

中津留幹事(宮崎糖尿病懇話会)

水田幹事(宮崎大学医学部)

長倉幹事(県医師会)

鬼村幹事代理(県歯科医師会)

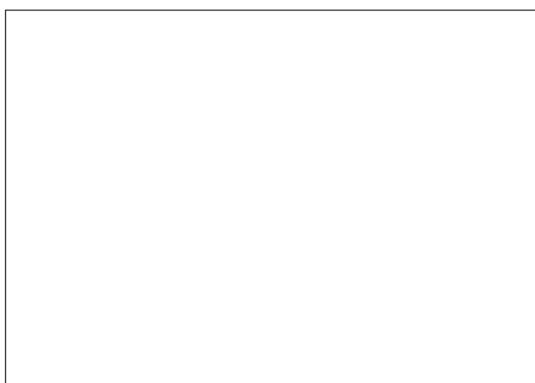
小川課長、久永係長

## 九州医師会連合会

と き 平成 2年 9月 26日(土)

ところ ホテル日航福岡

会連合会より電報をもってお見舞いしたとの報告があった。



### 4. 協 議

- 1 )日本医師会財務委員会委員の推薦について  
(福岡)

新設の財務委員会委員(全国で 15名)の九州地区 2名については、日医役員選出県以外からの選出として、22~ 23年度は「福岡・佐賀」からの委員を推薦することとした。

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

九州医師会連合会 横倉福岡県医師会長

### 3. 報 告

- 1 )第 109回九州医師会医学会分科会の出題並びに記念行事の参加状況について(福岡)

医学会分科会(内科等の 9分科会)と記念行事(囲碁等の 9種目)の参加申込み状況の報告があった。

- 2 )豪雨・地震に対するお見舞い(電報)について(福岡)

( 1 )豪雨による災害に対し、兵庫県・岡山県・徳島県・大分県医師会へ九州医師会連合会より電報をもってお見舞いしたとの報告があった。

( 2 )地震による災害に対し、神奈川・長野県・静岡県・愛知県医師会へ九州医師

- 2 )第 12回日本医師会臨時代議員会( 10月 25日(日)日医)における代表・個人質問について  
(福岡)

ブロック代表質問・個人質問について次の通り決定した。

- (1)ブロック代表質問(佐賀県・横須賀 巖先生)

「医師不足・偏在問題に対する日医の具体的対応方針について」

- (2)個人質問(福岡県・池田 俊彦先生)

「今こそ、全医師の強固な団結を」

- 3 )第 30回常任委員会並びに第 93回臨時委員会総会( 10月 30日(金)福岡市)の開催について(福岡)

次の通り開催されることに決定した。

・常任委員会

日時 平成 2年 10月 30日 16:00~ 16:50

場所 ホテル日航福岡

15年度以降、全教育長および全校長対象の研修会や特別支援教育コーディネーターの養成、相談員の派遣等の取組みを行っている。佐賀県には、発達障害に関して高い専門性を有する NPO 法人・医療機関等が多く存在するので、今後も

関係機関との連携・協力のもと発達障害児への支援の充実に努めていきたい」と講演を行った。その後、参加者との総合討論が行われ、最後に日本医師会の内田常任理事よりコメントをいただいた。

## 平成 2 年度九州学校検診協議会幹事会

佐賀県の堤常任理事の司会により開会后、九州医師会連合会・九州学校検診協議会の横倉会長、佐賀県の沖田会長より挨拶があった。慣例により、九州学校検診協議会横倉会長が座長に選出され、協議に入った。

### 1. 平成 2 年度九州学校検診協議会の事業報告並びに決算について

資料に基づき福岡県の原口理事より事業報告並びに決算について報告があった。

### 2. 平成 2 年度九州学校検診協議会の事業計画並びに予算について

福岡県の原口理事より資料に基づき報告があり、全会一致で承認された。

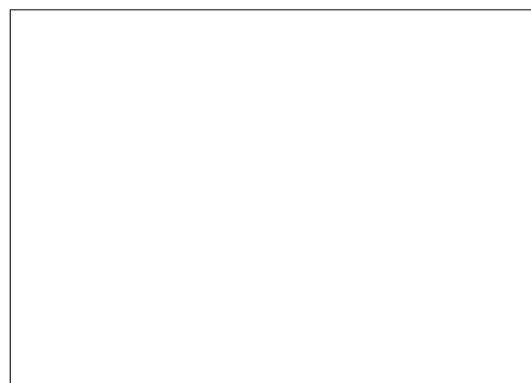
### 3. その他

#### 1) 九州学校腎臓病検診マニュアルの「保護者向けの Q & A」について(鹿児島県)

鹿児島県の二宮専門委員より「本マニュアルに、保護者向けの Q & A を追加することが昨年の本協議会専門委員会で決定し、11 項目を追加することで準備中であるが、追加削除等あればご教示いただきたい」との提案があり、11 月の本協議会専門委員会において再度協議されることとなった。

#### 2) 九州各県における腎臓検診結果集計のⅡ化について(福岡県)

福岡県の伊藤専門委員より、昨年の本協議会腎臓専門委員会で討議した「ウェブ上で学校検尿精密検査後の診断名登録進行状



況」について説明があり、11 月の同委員会に向けて本始動できるよう体制を整えるとの報告があった。

#### 3) 学校管理下での AED の使用状況について(鹿児島県)

鹿児島県の吉永専門委員より「県教育委員会・日本スポーツ振興センター・日本医師会では AED の設置状況は把握しているが、使用状況は調査されていない。使用状況とその結果について調査をしてはかがか」との提案があり、11 月の本協議会専門委員会において再度協議されることとなった。

出席者 - 稲倉会長、富田副会長、佐藤常任理事、  
宮田学校医部会理事  
田中事務局長、小川課長、高山主事

## 九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)

佐賀県の徳永常任理事の司会により開会后、佐賀県の沖田会長、日本医師会岩砂副会長の挨拶があった。慣例により、佐賀県の沖田会長が座長に選出され協議に入った。

### 協 議

1. 日本学校保健会と国立感染症研究所感染症情報センターで共同開発した学校欠席者情報収集システムの活用について(鹿児島県)

鹿児島県の池田副会長より、「学校保健ポータルサイトに本システムが紹介されている。感染症の流行の兆候をリアルタイムで把握でき、流行初期での対応や予防に役立たせるほか、新型インフルエンザ発生時など危機管理対策としても大いに期待できるが、現段階では周知が十分なされていないのではないかとと思われる。システム普及へ日医のご見解をお伺いしたい」との提案があった。

日医内田常任理事 - 以前、国立感染症研究所感染症情報センターの研究者から伺った話によると、地域を限定し3年間程度のモデル事業として実施している。養護教諭に毎日情報を入力してもらっているため、普及に向けては養護教諭の協力とパソコンの購入が問題であるが、モデル事業として実施後、全国展開していく予定であるとの話であった。本システムが普及すれば、感染症の拡大に迅速な対応ができるので、日医としてもモデル事業の成果を踏まえ、文科省や養護教諭協力への対応も含め、システムの普及に努めたい。

2. 運動器検診について(福岡県)

福岡県の原口理事より、「運動器検診については『運動器の10年』日本委員会が中心となり、体制の整備に向けた事業が推進されており、本県においても学校運動器検診の実施に向けて検討を重ねているところであるが、関係者

の理解と連携、予算の確保等、今後整理すべき課題がある。また、この検診を進めるにあたり、スムーズに浸透する方法を検討する必要もある。今後の参考とするため、運動器検診に関する他県の状況をお伺いしたい」との提案があった。

日医内田常任理事 - 九州は先進的な取組みが進んでいる。ご指摘のように、運動過多による運動障害と運動を全くしないことによる運動器未発達の高極化が進んでいる。運動器検診を導入することによって両方の障害の早期発見早期治療が進むといわれている。子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業の中で本検診を実施するには予算上難しいので、内科検診時に実施できるよう、検診のマニュアル化も検討する必要がある。養護教諭の意識の問題等により、現状での予算化は難しいが、モデル事業の積み重ねにより今後予算化できればと考えている。

### 中央情勢について

#### 日医内田常任理事

1. 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業について

平成 20年度から文科省の委託事業として予算化されており、予算の執行率は約 65%である。特色は、全都道府県にわたる事業であることと、100%文科省の補助事業であることだが、通常の補助事業であれば、3分の1程度の補助で残りは地方公共団体に負担するのが普通であるので、財務省より本年度の概算要求の段階で、予算を3分の1に削減するといわれた。そこで、従来どおりの予算化を文科省で行うという政治的なプレッシャーと、平成 15年度から 65%を超える予算執行率の実績があるので、文科省の予算が3分の1に削減

されても、残りを総務省の地方交付税で予算化できるという話で折衝した結果、来年度も減額なしで従来どおり実施することが決定した。来年度以降は事業の見直しを要求されると考えられるので、文科省での予算が削減されても総務省の地方交付税で予算化できるよう、来年度は、これまでの実績と予算を生かした事業の展開をお願いしたい。

## 2. 学校保健会との連携

学校保健会に対する補助は、年々減額措置が繰り返されているため、事業の見直しや財政基盤の確立が必要である。昨年、各都道府県の学校保健会の負担額の増額が決定しているので、安定した財政確保の方策を検討していきたい。以前、日医の学校保健を担当していた雪下先生が本年度から専務理事となったので、まず財政基盤の確立と、今後の事業展

開の見直しについて取組んでいる。

## 3. 新しい検診への取組みについて

生活習慣病検診や運動器検診等の新しい検診への取組み方が重要な課題である。先進的な一部の都道府県においてモデル事業として実施しているので、この成果を日医の学校保健委員会において集積し、今後の予算化に向けて取組んでいきたい。

## 4. アレルギー疾患について

昨年度、手引きにより意見書様式等を示したが、運用に際し現場で問題がでている。学校保健会では Q & A の見直しを進める動きが頓挫している。11月の全国学校保健・学校医大会に向けて整備していきたい。

出席者 - 稲倉会長, 富田副会長, 佐藤常任理事, 田中事務局長, 小川課長, 高山主事

# 平成 2 年度九州医師会連合会学校医会評議員会

佐賀県の徳永常任理事の司会により開会、佐賀県の沖田会長の挨拶および議長選出後、議事が進行された。

## 報 告

1. 平成 2 年度九州医師会連合会学校医会事業について(熊本県)

2. 平成 2 年度九州医師会連合会学校医会歳入歳出決算について(熊本県)

熊本県の小林理事より資料に基づき報告があり、1, 2 とも承認された。

3. 平成 2 年度九州医師会連合会学校医会事業経過について(佐賀県)

佐賀県の池田副会長より資料に基づき報告があった。

## 議 事

第 1 号議案 平成 2 年度九州医師会連合会学校医会事業計画に関する件

(佐賀県)

原案どおり承認された。

第 2 号議案：平成 2 年度九州医師会連合会学校医会負担金並びに歳入歳出予算に関する件(佐賀県)

負担金について、前年度と同額をお願いしたいとの提案があり、それに基づき予算案の説明、審議の結果、原案どおり承認された。

第 3 号議案：第 54 回・第 55 回九州ブロック学校保健・学校医大会開催担当県に関する件(佐賀県)

第 54 回を鹿児島県で開催することが決定し、第 55 回を大分県に内定したい旨の提案があり、承認された。

出席者 - 稲倉会長, 富田副会長, 佐藤常任理事, 田中事務局長, 小川課長, 高山主事

## 9月のベストセラー

- |    |                                      |           |                      |
|----|--------------------------------------|-----------|----------------------|
| 1  | しがみつかない生き方<br>「ふつうの幸せ」を手に入れる 100のルール | 香 山 リ カ   | 幻 冬 舎                |
| 2  | 新参者                                  | 東 野 圭 吾   | 講 談 社                |
| 3  | リーダーは半歩前を歩け                          | 姜 尚 中     | 集 英 社                |
| 4  | 人間の運命                                | 五 木 寛 之   | 東 京 書 籍              |
| 5  | 幸せの作法<br>働く女性に贈る 61のヒント              | 坂 東 眞 理 子 | アスキー・メディア<br>ワ ー ク ス |
| 6  | 私服だらけの中居正広 増刊号~輝いて~                  |           | 扶 桑 社                |
| 7  | 植物図鑑                                 | 有 川 浩     | 角川グループ<br>パブリッシング    |
| 8  | あと5年で中国が世界を制覇する                      | 副 島 隆 彦   | ビ ジ ネ ス 社            |
| 9  | 社長になる人に知っておいてほしいこと                   | 松 下 幸 之 助 | P H P 研 究 所          |
| 10 | 体温を上げると健康になる                         | 齋 藤 真 嗣   | サンマーク出版              |

宮脇書店本店調べ

☎ ( 0985) 23-7077

## お知らせ

## 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方  
お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

お申し込みは10月16日(金)までに総務課へご連絡ください。

と き 平成 2年 11月 3日 (火)・文化の日)

9 : 20~

ところ ハイビスカスゴルフクラブ

宮崎市佐土原町大字下田島 21085-1

## 日医 FAX ニュースから

地方の大学病院の割合、初めて増加  
10年度臨床研修の募集定員

厚生労働省は 9 月 4 日に開いた医道審議会・医師分科会医師臨床研修部会(部会長 = 相川直樹・慶応大名誉教授)で、2010年度の臨床研修病院数や募集定員数を報告した。都市部の 6 都府県(東京、神奈川、愛知、京都、大阪、福岡)以外の募集定員数が、04年度の義務化以来、初めて全体の 6 割を超えた。大学病院に限っても、6 都府県以外の募集定員数の割合が、制度導入後、初めて増加に転じた。

厚労省医政局医事課医師臨床研修推進室は「地方の大学病院の募集定員を増やすという見直しの効果が現れている。ただ、あくまで募集定員上で、実際に研修医がどう動くかは 10月末のマッチングの結果を見なければならない」としている。募集定員の最終決定は 9 月下旬になる予定だ。

10年度の研修医の募集定員は 1 万 683 人(新規指定分除く)で、前年度より 765 人減少。08年度をピークに 2 年連続で減少し、2 年間で 1039 人減となった。都市部の 6 都府県以外の募集定員数の割合は前年度比 1.6 ポイント増の 60.3% だった。

臨床研修病院と大学病院別に募集定員数の割合を見ると、臨床研修病院が 53.5%、大学病院が 46.5%。いずれも前年度とほぼ同水準で、制度導入以降、減少傾向にあった大学病院の割合が下げ止まった。

10年度に研修医を募集する基幹型臨床研修病院数は 105 病院(前年度比 63 病院減、新規指定分除く)で、制度導入後初めて減少に転じた。制度見直しで従来の「単独型」と「管理型」を「基幹型」とし、指定基準を厳格化したことで、臨床研修病院がある程度淘汰されたものとみられる。

研修プログラムごとの割合を見ると、従来の「7 診療科必修ローテーション」の研修プログラムの定員数は全体の 22%、弾力化した研修プログラ

ムの定員数は 78% で、多くの臨床研修病院が多様な研修プログラムを用意していた。

(平成 2 年 9 月 8 日)

## 在宅復帰希望が増加の傾向

## 08 年受療行動調査

厚生労働省が 9 月 7 日に発表した「2008 年受療行動調査」の概況で、在宅での通院治療を希望する入院患者が増加傾向にあることが分かった。退院許可が出た場合「自宅で療養できる」と回答した入院患者の割合も増加し、「完治するまで入院を続けたい」と応えた患者は半数を下回った。

一般病院 500 施設の入院・外来患者 20 万人余りを対象に実施した。対象日は昨年 10 月 21~23 日のうち施設ごとに指定された 1 日。入院患者の有効回答は 5 万 3000 件余り、外来患者は 10 万件余りだった。

入院患者のうち「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」との回答は 23.8% で、前回調査時(05 年)より 7.3 ポイント上昇した一方、「完治するまでこの病院に入院していきたい」と回答したのは 45.9% で前回より 8.9 ポイント下がった。

退院許可が出た場合「自宅療養できる」と答えたのは 50.0%(前回比 8.4 ポイント増)、「自宅療養できない」と答えたのは 33.0%(同 4.5 ポイント減)だった。療養病床のある病院では「できない」が 43.9% で「できる」の 39.0% を上回ったが、それ以外の病院では病床規模などにかかわらず「できる」の割合が「できない」を上回った。

「できない」と答えた患者が自宅療養を可能にする条件(複数回答)は「家族の協力」が最も多く 48.0%、「入浴や食事などの介護サービス」36.2%、「療養のための改築など」31.5% が続いた。

外来の不満「待ち時間」と「費用」

病院に対し「満足」と答えたのは外来患者の 58.0%(前回比 4.2 ポイント増)、入院患者の 65.9%(同 4.8 ポイント増)。「不満」と答えたのは外来の 5.4%(同 0.7 ポイント減)、入院の 4.7%(同 0.3 ポイント減)だった。個別のサービスなどの満足度で「不満」の割合が高かったのは、外来では「待ち時間」

30.6%、「診療・治療に要した費用」24.0%など。入院では「食事の内容」14.7%、「病室・浴室・トイレ」12.1%などだった。

外来患者の待ち時間は「30分未満」が44.2%(同2.0ポイント減)、「30分以上1時間未満」が24.5%(同2.6ポイント増)など。外来の診察時間は「3分未満」が13.6%(同2.8ポイント減)、「3分以上10分未満」が53.4%(同2.8ポイント増)などとなっている。(平成27年9月1日)

### 救急受け入れ基準 地域特性に配慮を 作業部会の委員ら要望

厚生労働省と総務省消防庁は9月1日、「傷病者の搬送及び受け入れの実施基準等に関する検討会作業部会」(座長=有賀徹・昭和大医学部教授)を開いた。改正消防法で都道府県に設置を義務付けた「傷病者の搬送と受け入れの実施基準」について、策定ガイドライン(G L)の原案となる作業部会報告書案を提示した。改正消防法では、実施基準の策定作業の一部として、患者の適切な搬送先確保のため、医療機関を分類してリストを作成することを都道府県に義務付けているため、報告書では1 緊急性 2 専門性 3 特殊性 の3つの視点で医療機関を分類する方法を提案した。

寺澤秀一委員(福井大医学部付属病院総合診療部教授)は、「地方では搬送困難になる可能性がある患者は状況がそれぞれ違う。あまり例示が出てくると、地方は混乱するかもしれない」と指摘。横田順一郎委員(市立堺病院副院長)は「特殊性」の考え方について「その地域で何が不足しているために収容困難なのかを拾い出す作業をすべき」と提案した。有賀座長は「関係者が一度集まって議論しておけば、コンセンサスが得られるのでは」と述べ、この意見に同意した。

「地域の実情を考慮すべき」との提案に対し、事務局は特殊性に関して同意する一方、緊急性、専門性については「地域の実態ということもあるが、それ以前に患者さんの状態に応じて、いち早い医療の提供が必要。ある程度の方角は示していく」とした。

実施基準の定期的な見直しを 石井常任理事 このほか委員からは、実施基準の定期的な見直しを求める記載を強調すべきとの意見が上がった。石井正三委員(日医常任理事)は「リストを一度作ったら、ずっとその地域で使うというのは逆に困る。1年に1回見直すなどしなくては、現場と乖離してしまう」と指摘。横田委員は「搬送時間が短くなったとしても、質が高いのかどうかまでは分からない」とした上で「実際に運んだ後はどうだったのかデータを持ち寄って分析すべき。リストや搬送選定の基準がおかしかったということがあれば見直すことが必要」と提案した。(平成27年9月15日)

### 厚労相に長妻氏「後期高齢者は廃止」 民主・鳩山内閣が発足

民主党の鳩山由紀夫代表は9月16日、第172回特別国会で首相指名を受け第93代内閣総理大臣に就任した。鳩山首相は同日、組閣を実施し、厚生労働大臣に長妻昭政調会長代理を充てた。

長妻新厚労相は17日未明、首相官邸での記者会見に臨み、「後期高齢者医療制度の廃止は民主党のマニフェストにも明記している。年齢で区分して医師にかかりやすい人を1つの保険制度に入れるのは無理がある」と述べ、廃止する考えをあらためて示した。

長妻氏は厚労省の政策決定に関して「議論の途中過程も含めて、できる限り正直に国民にお教えし、理解を逐一得るような意思決定を積み重ねていきたい」と述べた。その上で「社会保障に正解はない。1人1人の意見を聞きながら、より良い制度に常につくり変えていく姿勢が大事」とした。

厚労省の体質に対しては「たまった膿を出していく。その後に厚労省を立て直す。国民から尊敬される厚生官僚が1人でも多く出てくるような組織に生まれ変わらせることも私の任務と考えている」と述べた。(平成27年9月18日)

## 医事紛争情報

メディアファクスより転載

### 医院に 5600 万賠償命令

#### 胆道閉鎖症の乳児を誤診

肝硬変や肝不全の原因となる胆道閉鎖症を誤って感染性腸炎と診断したため、男児が生後 7 カ月で死亡したとして、富山市に住む両親が同市の「橋本医院」(橋本明久理事長)に約 7000 万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、富山地裁は 15 日、同医院の過失を認め、約 5600 万円の支払いを命じた。田辺浩典裁判長は判決理由で「胆道閉鎖症を疑い、採血検査などをする義務があった」と過失を指摘。「早期に手術をすれば助かった可能性が高い」と述べ、誤診と死亡の因果関係を認めた。

判決によると、男児は 2004 年 9 月に生まれ、11 月に胆道閉鎖症特有の白色便があったため、橋本医院で受診。理事長でもある橋本医師は、自然治癒が見込まれるウイルス性腸炎と診断した。

しかし男児はその後も症状が改善せず、05 年 1 月に富山市民病院で胆道閉鎖症と診断され、母親から生体肝移植を受けたが、同 4 月に肝不全で死亡した。

### 毎日記者ら 2 審も賠償命令

#### 術後死亡めぐる記事出版

東京女子医科大病院で 2007 年、心臓手術を受けた群馬県の少女の死亡を「手術ミス」と報じた連載記事の出版は名誉棄損に当たるとして、元担当医が毎日新聞記者 5 人と発行元の集英社(東京)に計 200 万円の損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決で、東京高裁は 15 日、80 万円の支払いを命じた一審東京地裁判決を支持、双方の控訴を

棄却した。

判決によると、集英社は毎日新聞の取材班が 02 年 1 月から連載した新聞記事をまとめた新書「医療事故がとまらない」を 03 年に出版。元担当医は少女の死亡で業務上過失致死罪に問われたが、無罪が確定している。

柳田幸三裁判長は、毎日側が「ミスがあった」と報じる根拠とした病院の内部報告書について、連載終了から 1 年以上たった出版時点では、元担当医側の公判での主張や心臓などの関連 3 学会の報告書で疑問が示されていたと指摘。その上で「連載後も追跡取材していれば、内部報告書の結論に重大な疑いがあることを知り得た。記者らが 3 学会の報告書などを検討せず、内部報告書の内容を真実と信じたことに相当の理由はない」と結論付けた。

元担当医は請求額を一審では 1000 万円としていたが、控訴審で 200 万円に減額した。

集英社広報室は「全く納得できない。判決理由を精査し、上告も検討する」とコメントを出した。

### 医療ミスで 2 歳児意識不明

#### 静脈に空気注入

福島県立医科大は 8 月 3 日、附属病院で 7 月に実施した県内の男児(2)の手術で、誤って静脈に空気を注入するミスがあったと発表した。男児は意識不明の状態が続いているという。

同大によると、7 月 29 日、男児の胃食道逆流症を治療する手術を実施。20 代の女性麻酔科医が胃に空気を送ろうとした際、鼻から胃につながるチューブを使用しないといけないのに、右足から静脈につながる別のチューブに注射器で空気 100ml を送ってしまった。

それぞれのチューブは太さがほとんど同じ。男児の体に手術用のシートがかかっていたため、麻酔科医が手探りでチューブを選び、注入したとしている。麻酔科医は「正しいチューブと信じ

てしまった」と話している。

同病院は、再発防止のため注射器の色を変えるなどの措置を取った。来週中に外部の専門家による調査委員会を立ち上げる予定。

## 県が解決金支払い和解へ

### がんセンター医療ミス訴訟

栃木県立がんセンターで、1999年に胃がんの手術を受けた男性(57)が死亡したのは術後の誤った処置が原因だとして、遺族が県に約6240万円の損害賠償を求めた訴訟で8月5日、県が宇都宮地裁(竹内民生裁判長)の提示した解決金を支払うことで遺族側と合意した。

遺族側代理人によると、提示額は500万～600万円。代理人は「県の説明では、県議会を通して金額が決まる。提示額の範囲内になる見込みだ」と話した。県は「協議中でありコメントは差し控える」としている。

訴状によると、男性は99年8月に同センターで胃の全摘出や腸と食道をつなぐ手術を受けたが、術後の縫合不全により出血が止まらなくなり、輸血を繰り返し行ったことで肝不全になり死亡した。

## 四肢まひ男性に死ぬ権利

### 豪の州最高裁

オーストラリア西部のウエスタンオーストラリア州最高裁は8月14日、交通事故で四肢まひになった同州の男性(49)が、看護施設による栄養補給を拒否し、自然に死を迎える権利を認める判断を下した。

施設側が「死を望む患者の意思に従い、腹部の栄養チューブを外すことが違法かどうか」の判断を求めたが、同最高裁は「栄養補給をやめても施設

は刑事責任を問われない」と判断した。

男性の弁護士によると、男性は200年のサイクリング中の事故がきっかけで四肢まひになった。男性は「強い痛みがあり、生き地獄のようだ」と話している。

同最高裁は「今回のケースは安楽死とは異なる」としているが、同国で安楽死を認めるかどうかの議論に火がつく可能性もある。

## 受精卵取り違い訴訟和解へ

### 高松地裁、820万支払い

香川県立中央病院で不妊治療を受けた20代の女性と夫が、受精卵を取り違えられて中絶を余儀なくされたとして、県に約2200万円の損害賠償を求めた訴訟は8月19日、県が820万円を支払うことなどで高松地裁(和食俊朗裁判長)で和解する見通しとなった。県側と夫婦側が合意した。

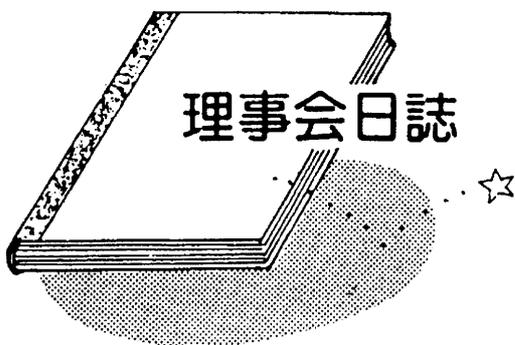
県が9月の定例県議会で承認を受け、10月に正式に和解が成立する。

訴状などによると、中央病院は昨年9月に体外受精を実施。その後、担当医が他人の受精卵を取り違えて女性に移植した可能性に気づき、夫婦に告知した。女性は11月に中絶した。

夫婦はことし2月に提訴。訴訟では事実関係にほとんど争いがなく、3月の第1回口頭弁論で地裁が和解を提案。7月、和解案の概要を双方に提示していた。

夫婦側の代理人の滝口耕司弁護士は、受け入れについて「早く解決したいという考えもあった」と説明した。

香川県立病院課は「身体的、精神的負担をかけおわび申し上げます。裁判所の判断を尊重し、和解案を受け入れる方向で進めたい」としている。



平成 2 年 8 月 18 日(火) 第 13 回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 9 / 18(金) (県医) 宮崎西ロータリークラブの職場訪問について  
医師会館の職場訪問について了承された。
2. 10 / 2(金) (熊本) 平成 2 年度(第 3 回)九州各県保健医療福祉主管部長九州各県医師会長合同会議の開催並びに提出議題について  
当日の出席者並びに提出議題について協議された。
3. 平成 2 年度公衆衛生事業功労者の表彰について  
慎重に協議され、推薦することになった。
4. MRT ラジオ「おしえて! ドクター健康耳寄り相談室」について  
番組については、3 月まで継続することになった。経費については引き続き検討することになった。
5. 9 / 1(火) ~ 9 / 9(水) 高木兼寛関係パネルの借用について  
貸し出しすることが了承された。
6. 9 / 30(火) (日医) 女性医師等相談事業連絡協議会の開催について  
荒木常任理事の出席が了承された。
7. 8 / 28(金) (日医) 「女性医師等相談事業連絡協

議会」事前打合せ会について

荒木常任理事の出席が了承された。

8. NHK テレビ「いっちゃんがテレビ(ドクターに Q!)」への番組協力について  
一方的な放送中止に対し、意見書を提出することになった。
9. その他
  - ・介護職員処遇改善交付金事業について  
事前説明会についての情報提供があった。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 8 / 18(火) (県衛生環境研究所) 県衛生環境研究所調査研究評価委員会について
3. 8 / 13(木) (県医) 成人病検診各部長連絡協議会について
4. 8 / 16(日) (宮観ホテル) 初期医師臨床研修 修了後専門研修説明会(県外学生・研修医)について
5. 8 / 18(火) (県医) 県訪問看護ステーション役員会について
6. 8 / 18(火) (県庁) 県自殺対策推進協議会について

平成 2 年 8 月 25 日(火) 第 6 回全理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について  
九州地方社会保険医療協議会臨時委員の候補者について  
引き続き、河野副会長を推薦することが了承された。
2. 後援・共催名義等使用許可について  
「ケアする人のためのスキルアップ講座 ~ 多様な居住の場での看取りの充実のため ~」の名義後援のお願いについて  
後援することが承認された。

- 10/26(木) サンホテルフェニックス)平成 21 年度「新老人の会」宮崎支部フォーラムの後援について  
後援することが承認された。
- 10/28(木) メディキット県民文化センター)平成 2 年度宮崎県社会福祉大会に対する後援名義の使用許可について  
後援することが承認された。
- 11/6(金)～ 7(土) (県介護実習・普及センター) スミセイさわやか介護セミナーに伴う名義後援について  
後援することが承認された。
3. 県社会保険診療報酬支払基金審査委員の欠員補充について  
天野正宏先生(宮崎大学医学部皮膚科)を推薦することが了承された。
4. 9 /10(木) 県総合保健センター)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について  
当日の立会者について協議された。
5. 平成 2 年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について  
順位を付けて推薦することになった。
6. 10/25(木) 日医)第 12 回日本医師会臨時代議員会の開催について  
代議員の出席について協議され、出席が了承された。
7. 第 12 回日本医師会臨時代議員会(10月 25日(日))における九州ブロック代表質問・個人質問について  
質問事項について協議された。
8. 10/3(土) 福岡)九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における唐澤日本医師会会長講演「中央情勢報告」への要望事項について  
要望事項について協議された。
9. 11/28(土) 福岡)平成 2 年度九州学校検診協議会専門委員会の開催について  
心臓部門に高村一志・佐藤雄一先生、腎臓部門に宮田純一先生、小児生活習慣病部門に澤田浩武先生の出席が了承された。
10. 第一生命の株式割当について  
株式で受け取ることが承認された。
11. 9 /1(土)平成 2 年度日本医師会社保指導者講習会復講について  
開催について協議され、「がん診療update - 肺がん, 胃・大腸がん, 婦人科領域を中心に - 」の講演内容で開催することが了承された。
12. 9 /19(土) 宮観ホテル)第 59 回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会について  
当日の懇親会への出席について、役員の先生方へ案内があった。
- (報告事項)
1. 8 /24(木) 宮観ホテル)宮崎政経懇話会について
2. 8 /25(木) 県庁)県立病院事業評価委員会について
3. 8 /25(木) 県庁)地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会について
4. 8 /19(木) 日医)都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会について
5. 8 /20(木) 刑務所視察委員会について
6. 8 /2(土) 県医)県医師会学校医部会総会・医学会について
7. 8 /20(木) 県庁)県精神科救急医療システム連絡調整委員会について
8. 互助会の現状について
9. 8 /20(木) 県医)介護保険委員会について
10. 8 /2(金) 県医)治験セミナー(TV会議)について
11. 8 /24(木) 県医)広報委員会について
12. 7 /30(木) 都城)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
13. 8 /20(木)～ 2(金) 日医)社会保険指導者講習会について

14. 「宮崎県医師会医学会誌」掲載論文のリポジットへの登録について

15. 8 /2(金)~ 23(日) (京都)日本プライマリ・ケア学会支部研究会並びに学術会議について

16. 8 /2(土)~ 23(日) (佐賀)中国四国九州地区医師会看護学校協議会について

17. 8 /2(土) (県医)産業医研修会について

医師国保組合関係

(報告事項)

1. 7 /3(金) (県医)医師国保組合通常組合会について

医師協同組合・エムエムエスシー関係

(協議事項)

1. 組合員加入承認について

1 名の組合員加入について承認された。

(報告事項)

1. 8 /2(火) (県医)医協運営委員会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 8 /1(火) (都城), 8 /2(土) (日向)衆議院選挙推薦候補事務所訪問について

平成 2 年 9 月 1 日(火) 第 14 回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

10/21(火) (メディキット県民文化センター) 第 3 回「とって健康セミナー」後援依頼について

後援することが承認された。

11/6(金)~ 7(土) (宮崎市民プラザ) 第 9 回日伊科学技術宮崎国際会議 2009 の名義後援について

後援することが承認された。

2. 9 /18(金) (延岡) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

当日の立会者について協議された。

また、延岡市医師会からの立会者についても協議された。

3. 平成 2 年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について  
順位をつけて推薦することになった。

4. 宮崎県における基幹型臨床研修病院を増やすための働きかけのお願いについて

文面について検討し、県へ働きかけすることが了承された。

5. 10/2(金) (JAL シティ宮崎) 宮崎県肝炎対策事業「医療従事者向け特別記念講演会」について

拠点病院からの共催のお願いであり、共催することが承認された。

また、会員へ講演会の広報をすることも了承された。

(報告事項)

1. 8 月末日現在の会員数について

2. 8 /2(木) (支払基金) 支払基金幹事会について

3. 8 /2(火) (県医) 労災診療指導委員会について

4. 8 /2(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

5. 8 /2(火) (県医) 互助会会計監査について

6. 8 /2(火) (県総合保健センター) 妊婦健康診査の公費負担のあり方について

7. 8 /2(火) (県企業局) 県高齢者虐待防止連絡会議について

8. 8 /2(木) (県総合保健センター) 社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導について

9. 9 /1(火) (県医) 県准看護師試験委員会について

10. 8 /2(土) (県医) 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・講演会について

11. 8 /2(金) (日医) 女性医師等相談事業連絡協議会事前打合せ会について

## 医師連盟関係

## ( 報告事項 )

- 1 . 第 45回衆議院議員選挙結果報告について

平成 27年 9月 8日(火) 第 15回常任理事会

## 医師会関係

## ( 協議事項 )

- 1 . 本会外の役員等の推薦について  
国立大学法人宮崎大学経営協議会委員の  
就任について  
稲倉会長の就任が承認された。
- 2 . 11/28(土) 福岡 九州各県医師会学校保健担当  
理事者会の開催について  
佐藤常任理事の出席が了承された。
- 3 . 12/17(木) 日医 都道府県医師会医事紛争担当  
理事連絡協議会の開催通知について  
濱田常任理事の出席が了承された。
- 4 . 認知症疾患医療センター事業について  
県医師会が主体となって、日本老年精神  
医学会若しくは日本認知症学会の専門医の  
いる医療機関へ案内することになった。
- 5 . 9 /18(金) 宮観ホテル 宮崎県学術会議等誘致  
推進懇談会の開催について  
松本常任理事と事務局からの出席が了承  
された。

- 6 . 新型インフルエンザ特集紙面掲載( 9 /18(金)  
のご案内について

取材等の記事については全面的に協力す  
るが、広告についてはお断りすることにな  
った。

## ( 報告事項 )

- 1 . 週間報告について
- 2 . 9 /6(日) 穆園広場 高木兼寛生誕 160年記念  
式典について
- 3 . 9 /4(金) 県医 公益法人制度改革勉強会( 県  
医のみ )について
- 4 . 9 /3(木) 県庁 県自殺対策推進協議会につ  
いて
- 5 . 新型インフルエンザへの対応について
- 6 . 9 /5(土) 県医 県医師会医学会について
- 7 . 9 /8(火) 県医 治験審査委員会について

## 医師連盟関係

## ( 協議事項 )

- 1 . 9 /12(土) JA・AZM 大ホール 自民党宮崎県連  
総務会・支部長合同会議の開催について  
事務局で対応することになった。

## ( 報告事項 )

- 1 . 9 /4(金) 宮観ホテル 三師会懇談会について

## 県 医 の 動 き

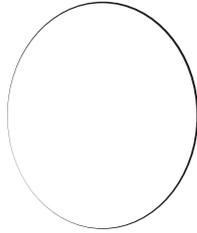
(9月)

- 1 県准看護師試験委員会(石川常任理事他)  
第14回常任理事会(会長他)
- 3 産業医研修会  
県自殺対策推進協議会(吉田常任理事)  
県産婦人科医会新型インフルエンザに関する打合せ(濱田常任理事)
- 4 公益法人制度改革勉強会(県医のみ)  
(立元常任理事)  
三師会懇談会(会長他)
- 5 県医師会医学会(会長他)
- 6 高木兼寛生誕160年記念式典(会長)  
九医協連監査会・理事会(福岡)  
(西村副理事長他)  
県小児科医会役員会(佐藤常任理事)
- 7 救急医療功労者県知事表彰表彰式  
(事務局)  
県内科医会医療保険委員会(上田理事)
- 8 五役会議(会長他)  
治験審査委員会(富田副会長他)  
第15回常任理事会(会長他)
- 9 奥様医業経営塾(医協事務局)
- 10 産業保健活動推進全国会議(日医)  
(大塚常任理事他)  
介護サービス情報調査機関調査員フォローアップ研修会(事務局)  
社会保険医療担当者(医科)の個別指導  
(上田理事)  
医療従事者英語講座中級編  
県糖尿病対策推進会議幹事会(会長他)  
県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)
- 11 県内科医会理事会(石川常任理事)  
東国原英夫講演会並びにパーティー(事務局)  
各都市医師会長協議会(会長他)
- 12 自民党県連総務会・支部長合同会議  
(事務局)  
産業医研修会(大塚常任理事)  
社保指導者講習会復講【TV会議：都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸】  
(会長他)
- 13 県医シンボルマーク一次審査
- 14 産業医研修会(都城市北諸県郡医師会館)  
広報委員会(富田副会長他)
- 15 都道府県医師会長協議会(日医)(会長)  
日医連執行委員会(日医)(会長他)
- 第16回常任理事会(富田副会長他)
- 16 全体課長会(事務局)  
奥様医業経営塾(医協事務局)  
産業医研修会  
かかりつけ医認知症対応力向上研修等に関する打合せ(石川常任理事)
- 17 医療従事者英語講座中級編
- 18 社会保険医療担当者(医科)の個別指導(延岡)  
(石川常任理事)  
宮崎西ロータリークラブ職場訪問(会長他)  
県学術会議等誘致推進懇談会(松本常任理事)
- 19 県産婦人科医会秋期定時総会(濱田常任理事)  
全国医師会医療秘書学院連絡協議会医療保険請求事務実技試験委員会(会長他)  
全医秘協常任委員会(会長他)  
全医秘協定例総会・運営委員会(会長他)  
全医秘協懇親会(会長他)
- 20 全医秘協ゴルフ  
全医秘協観光
- 21 【敬老の日】  
全医秘協ゴルフ
- 22 【国民の休日】
- 23 【秋分の日】
- 24 広報委員会(荒木常任理事他)  
医療従事者英語講座中級編
- 25 住吉昭信学長退任記念講演会  
住吉昭信学長退任記念祝賀会(会長)
- 26 ICLS指導者養成ワークショップ  
医事紛争対応九州・沖縄セミナー(福岡)  
(事務局)  
九医連常任委員会(福岡)(会長)  
九医連各種協議会(福岡)(河野副会長他)
- 27 ACLS研修会
- 28 外部評価審査小委員会(事務局)  
宮崎政経懇話会
- 29 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会  
(河野副会長)  
医協運営委員会(会長他)  
第7回全理事会(会長他)  
各都市医師会長協議会(会長他)
- 30 奥様医業経営塾(医協事務局)  
産業医研修会  
女性医師等相談事業連絡協議会(日医)  
(荒木常任理事)  
支払基金幹事会(会長)  
労災診療指導委員会(河野副会長他)  
宮崎医療政策研究会(会長他)

## ニューメンバー

いし だ やすし  
石 田 康

住 所：宮崎市  
専門科目：精神科  
家族構成：妻，長女(高3)，  
長男(中3)



略 歴：

昭和 52年 県立宮崎西高校卒業  
昭和 60年 大分医科大学医学部卒業  
宮崎医科大学精神科入局  
平成 14年 宮崎医科大学(現宮崎大学医学部)  
精神科教授  
臨床における専門分野：高齢者の精神障害，  
性関連障害

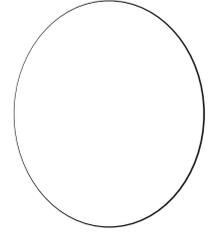
趣 味：ジャズ鑑賞

抱 負：「書を捨てよ，町へ出よう」(寺山修司)精神科医も病院内に鳴りを潜めるばかりではなく，医療以外の社会活動もせねば，と自殺対策その他諸々やって(やらされて?)おります。ただ 根がひきこもり系で 最近ちょっと過剰適応ではと内省しております。

小学校 1 年までは延岡住まいでしたが，その後は宮崎市で育ちました。地元で医療に携わられる利点を痛感する今日この頃です。県医師会の先生方にはお世話になることばかりですが，今後とも優しく見守って頂きたいと思っております。

えの もと ゆう すけ  
榎 本 雄 介

住 所：延岡市  
専門科目：外科，内科  
家族構成：妻，長女(2歳)，  
長男(8か月)



略 歴：

平成 5 年 県立宮崎西高校卒業  
平成 11年 宮崎医科大学卒業  
宮崎医科大学第 2 外科入局  
平成 21年 大貫診療所開設

趣 味：剣道(4段)，相撲，和太鼓

抱 負：延岡市の新規開業支援事業の認定(第 1 号)を受け，6 月より「大貫診療所」を開設しました。病気の治療のみならず，地域に暮らす人々が幸せを感じられるような医療を実践したいと思っております。この夏は「ばんば踊り」もかなり踊りました。現在は，大相撲の東関部屋の冬合宿を延岡に誘致する活動に力を入れています。医療以外の面からも地域を盛り上げたいと思っています。剣道は 2 年前のアキレス腱断裂以降ご無沙汰です。そろそろ稽古したいと考えてはいますが…。

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 2年 9月 15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しております。ご覧ください。

### 1. 求職者登録数 6人

#### 1) 男性医師求職登録数 5人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤・非常勤別
内科	3	常勤, 非常勤
整形外科	1	常勤, 非常勤
心療内科	1	非常勤

#### 2) 女性医師求職登録数 1人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤・非常勤別
老健施設	1	非常勤

### 2. 斡旋成立件数 27人

#### 1) 男性医師 20人 2) 女性医師 7人

### 3. 求人登録 83件 292人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤・非常勤別
内科	90	常勤( 73 ), 非常勤( 17 )
循環器科	12	常勤( 11 ), 非常勤( 1 )
呼吸器科	9	常勤( 9 )
外科	29	常勤( 22 ), 非常勤( 7 )
整形外科	28	常勤( 21 ), 非常勤( 7 )
産婦人科	3	常勤( 3 )
眼科	8	常勤( 7 ), 非常勤( 1 )
耳鼻咽喉科	1	常勤( 1 )
泌尿器科	1	常勤( 1 )
皮膚科	1	常勤( 1 )
放射線科	6	常勤( 6 )
リハビリテーション科	6	常勤( 5 ), 非常勤( 1 )
脳神経外科	13	常勤( 10 ), 非常勤( 3 )
神経内科	5	常勤( 5 )
神経科	6	常勤( 5 ), 非常勤( 1 )
精神科	16	常勤( 12 ), 非常勤( 4 )
麻酔科	4	常勤( 3 ), 非常勤( 1 )
小児科	11	常勤( 10 ), 非常勤( 1 )
血液内科	2	常勤( 2 )
人工透析	1	常勤( 1 )
健診	3	常勤( 2 ), 非常勤( 1 )
検診	4	常勤( 1 ), 非常勤( 3 )
小児循環器科	1	常勤( 1 )
消化器内科	13	常勤( 12 ), 非常勤( 1 )
救命救急科	2	常勤( 2 )
その他	17	常勤( 13 ), 非常勤( 4 )

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
150005	医)りっか会 ささき病院	宮崎市	精	1	非常勤
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	2	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳整, 循, リハ, 放, 神	7	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精, 放	2	常勤
160031	医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼, 神内, 眼, 耳, 総診, 呼外, 循, 臨病, 乳外	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精, 内	2	常勤
170040	医)いなほ会 日高医院	宮崎市	内	1	常勤
170045	医)博愛社 佐土原病院	宮崎市	内	1	常勤
170046	医)善仁会 市民の森病院	宮崎市	内, 消内, 内泌糖内, 呼, 放, リウ	10	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内, 眼, 健診	3	常勤・非常勤
170052	医)春光会	宮崎市	外, 内	3	常勤
170054	SUM CO TECH X IV 宮崎診療所	清武町	内	1	常勤
180061	医)あいクリニック	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内, 神内, 整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	内	3	常勤
190089	上田脳神経外科	宮崎市	脳	2	常勤・非常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	整, 外	6	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	内, 外, 消内, リハ	9	常勤・非常勤
200103	宮崎循環器病院健診センター	宮崎市	健診	1	常勤
200104	医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内, 外, 救急, 化療, リハ	6	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内, 外, 放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	内, 泌	2	常勤
160010	特医)澈和会 戸嶋病院	都城市	内, 老内	2	常勤
160029	医)橘会 橘病院	都城市	整, 内, 麻	4	常勤
170042	医)豊栄会 豊栄クリニック	都城市	内	1	常勤
170056	医)アブラハムクラブ ベテスダ クリニック	都城市	循, 内, 呼, 神, 脳, 小循	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内, 外, 整	9	常勤・非常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消内, 血内, 循, 呼, 内, 脳, 産婦, 小	10	常勤
180066	医)清隆会 野口脳神経外科	都城市	脳, 神	2	常勤
180069	社)八日会 大悟病院	三股町	精, 内	2	常勤
180073	医)救会 小牧病院	都城市	整	1	常勤
180074	社)八日会 藤元早鈴病院	都城市	小, 産婦	4	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190084	医)一誠会 都城新生病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内 呼	4	常勤
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	検診	2	常勤・非常勤
200106	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内 外	4	常勤・非常勤
210108	特医)敬和会 みまた病院	三 股 町	内 消内 循皮 整婦 小 , 呼 放	12	常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外 消内 緩ケア	4	常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内 脳 循小 小 八 眼 婦 , 神内 老施	9	常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦 内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内 小 外 整	8	常勤・非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160028	日向市立東郷病院	日 向 市	内	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外 整 透 内	7	常勤
180063	美郷町国保南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
180065	美郷町国保西郷病院	美 郷 町	内 整	2	常勤
180068	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	循	1	常勤
180079	医)仁徳会 渡辺病院	日 向 市	内	2	常勤・非常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内 麻	4	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内 整 放	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整 内 麻 眼 健診	5	常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼 循 消内 外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	内 外 整 小 八	5	常勤・非常勤
150004	西都医師会病院	西 都 市	内 外	4	常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内 外 整	6	常勤・非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内 消内 神内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精 内	6	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内 神内 外 整	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	麻 小 眼	3	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	小	2	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外 内	2	常勤
180078	医)三和会 池田病院	小 林 市	内	1	常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	野 尻 町	整 内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五 ヶ 瀬 町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高 千 穂 町	内 神 循 脳	10	常勤・非常勤
190085	医)恒英会 田上医院	高 千 穂 町	内	1	常勤
190088	日之影町国保病院	日 之 影 町	内 整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

1. 譲渡物件	<p>児湯郡新富町富田 1 丁目 50-1            建物：鉄筋コンクリート一部 2 階建( 築 10 年 )            面積：1 階 184.04㎡( 55.67 坪 ) 2 階 38.48㎡( 11.64 坪 )居室            敷地面積：577.5㎡( 駐車場：10 台分 + 1 台分( 院長用 ) )            商店街 , 小学校 , 保育園に隣接しております。</p>
	<p>宮崎市大字瓜生野 1645-3( 矢野整形外科跡 )            土地：562.6 坪：1,859.89㎡            建物：鉄筋コンクリート造り 3 階建( 面積 1,047.89㎡：316.98 坪 )</p>
2. 賃貸物件	<p>宮崎市恒久南 1 丁目 9 -15( 三井田内科医院跡 )            建物：鉄筋コンクリート造一部 2 階建( 築 26 年 )            1 階 138.40㎡ , 2 階 54.57㎡            駐車場：約 6 台分</p>
	<p>日南市園田 2 -2 -5( 診療所跡 )            建物：鉄骨コンクリート造 2 階建            1 階 147.17㎡ , 2 階 54.68㎡ 日南市油津で町の中心部です。</p>
	<p>宮崎市曾師町 209-3( 診療所跡 )            建物：鉄筋コンクリート造 2 階建            1 階 183.35㎡ , 2 階 166.69㎡            駐車場：10 台分</p>
	<p>都城市中原町 14 街区 11 号            建物：鉄筋コンクリート造 2 階建( 診療所 )            1 階 256.27㎡ , 2 階 288.38㎡            駐車場：15 台分</p>
	<p>宮崎市中村西 2 丁目 3 番 19 号            建物：鉄筋コンクリート造一部 3 階建            面積：1 階 89.73㎡( 診療所 ) 2 階 97.96㎡( 住宅 ) 3 階 28.39㎡( 住宅 )            駐車場：5 台分( 診療所前 )+ 10 台分</p>
	<p>宮崎市矢の先 80 ふくとみ小児科跡 )            建物：鉄筋コンクリート造り 2 階建( 1 階の診療所部分のみ賃貸 )            面積：1 階 診療所面積 約 42 坪            駐車場：12 台駐車可</p>
	<p>都城市鷹尾町 2 丁目 7 -20 塚田小児科跡 )            建物：鉄筋コンクリート造り 2 階建( 築 3 年 )            面積：1 階 194㎡ 2 階 77㎡            駐車場：25 台 平成 18 年 3 月閉院</p>

お問合せ先

## ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地( 宮崎県医師協同組合 )  
 0985-23-9100( 代 ) FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyoubank@miyazakimed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 2年 9月 30日現在

11		月		
1	日	13: 00 (日医)日医設立記念医学大会	16 月	18: 00 県立病院経営形態検討委員会 19: 00 広報委員会
		9: 00 特定化学物質等作業主任者技能講習会	17 火	19: 00 第 20回常任理事会
2	月	18: 30 宮崎銀行との懇談会	18 水	
3	火	(文化の日)	19 木	18: 30 医協会計監査 19: 00 産業医研修会
		9: 20 県医親善ゴルフ大会 14: 30 県訪問看護ステーション連絡協議会 総会研修会	20 金	
4	水		21 土	14: 00 都道府県医師会税制担当理事連絡協議会 15: 00 生活習慣病検診従事者研修会
5	木			
6	金			
7	土	15: 00 生活習慣病検診従事者研修会	22 日	
		15: 30 県外科医会秋期講演会	23 月	(勤労感謝の日)
8	日	17: 00 医師国保創立 50周年記念行事	24 火	医協運営委員会 第 10回全理事会 県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会(予定)
9	月			
10	火	16: 30 地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議	25 水	10: 30 奥様医業経営塾(医協事務局) 15: 00 支払基金幹事会 15: 00 労災診療指導委員会
		18: 00 治験審査委員会 19: 00 第 19回常任理事会		
11	水	10: 30 奥様医業経営塾(医協事務局)		
12	木	14: 00 (日医)都道府県医師会税制担当理事連絡協議会	26 木	18: 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19: 00 広報委員会 19: 00 産業医研修会
		14: 00 産業医研修会 19: 30 県産婦人科医会常任理事会		
13	金		27 金	
14	土	10: 00 全国学校保健・学校医大会	28 土	10: 00 全国医師会勤務医部会連絡協議会 13: 30 産業医研修会 14: 30 産業医研修会 15: 00 九州学校検診協議会専門委員会 17: 10 九州各県学校保健担当理事者会
		10: 00 九州理学療法士・作業療法士合同学会 15: 30 糖尿病週間県民公開講座 16: 45 宮崎在宅医療実践のための講演会 19: 00 世界糖尿病デー in宮崎 2009		
15	日		29 日	
			30 月	19: 00 生活習慣病検診従事者研修会

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 2 年 9 月 30 日 現在

11		月		
1	日	全国医師協同組合連合会通常総会 九医学分科会・記念行事 13:00 (日医)日医設立記念医学大会 9:00 特定化学物質等作業主任者技能講習会	16 月 18:00 県立病院経営形態検討委員会 19:00 広報委員会	↑ 国 保 審 査 ↓
			17 火 19:00 第 20 回常任理事会	
2	月	18:30 宮崎銀行との懇談会	18 水	
3	火	(文化の日) 9:20 県医親善ゴルフ大会 14:30 県訪問看護ステーション連絡協議会 総会研修会	19 木 18:30 医協会計監査 19:00 産業医研修会	↑
			20 金	
4	水		21 土 14:00 都道府県医師会税制担当理事連絡協議会 15:00 生活習慣病検診従事者研修会	↑
5	木			
6	金			
7	土	15:00 生活習慣病検診従事者研修会 15:30 県外科医会秋期講演会	22 日	社 保 審 査
			23 月 (勤労感謝の日)	
8	日	17:00 医師国保創立 50 周年記念行事	24 火	医協運営委員会 第 10 回全理事会 県福祉保健部・病院局と県医師会 との懇談会(予定)
9	月			
10	火	16:30 地域リハビリテーション広域支援 センター連絡会議 18:00 治験審査委員会 19:00 第 19 回常任理事会	25 水	10:30 奥様医業経営塾(医協事務局) 15:00 支払基金幹事会 15:00 労災診療指導委員会
11	水	10:30 奥様医業経営塾(医協事務局)		
12	木	14:00 (日医)都道府県医師会税制担当 理事連絡協議会 14:00 産業医研修会 19:30 県産婦人科医会常任理事会	26 木	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 広報委員会 19:00 産業医研修会
13	金		27 金	
14	土	10:00 全国学校保健・学校医大会 10:00 九州理学療法士・作業療法士合同 学会 15:30 糖尿病週間県民公開講座 16:45 宮崎在宅医療実践のための講演会 19:00 世界糖尿病デー in 宮崎 2009	28 土	10:00 全国医師会勤務医部会連絡協議会 13:30 産業医研修会 14:30 産業医研修会 15:00 九州学校検診協議会専門委員会 17:10 九州各県学校保健担当理事者会
15	日		29 日	
			30 月	19:00 生活習慣病検診従事者研修会

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位。当日、参加証を交付。

がん検診＝各種がん検診登録・指定・更新による研修会 **太字**＝医師会主催・共催  
アンダーラインの部分は、変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
宮崎市郡産婦人科 医会第39回症例検 討会  (3単位)	10月1日(木) 19:30～ 宮崎市郡医師会病院	各医院からの紹介例  宮崎市郡医師会病院産婦人科  永井 義雄	◇主催 ※宮崎市郡産婦人科 医会 ☎0985-53-3434
平成21年度宮崎県 肝炎対策事業 医療従事者向け 特別記念講演会  (5単位)	10月2日(金) 19:00～20:30 ホテルJALシティ 宮崎	本県における肝疾患診療ネットワークに ついて(仮)  宮崎大学医学部消化器血液学講師  永田 賢治  C型慢性肝炎治療の将来の展望 －限りなく全症例の治癒を目指して－ 虎の門病院分院長 熊田 博光	◇共催 宮崎県 宮崎県医師会 肝疾患診療連携拠点 病院(宮崎大学医学部 附属病院) 宮崎県肝疾患治療カ ンファレス(MLC) ※シェリング・プラ ウ ☎092-474-9790
第55回宮崎市郡医 師会心臓病研究会  (3単位)	10月2日(金) 19:00～ 宮崎観光ホテル	虚血性および非虚血性拡張型心筋症に対 する左室形成術の経験 －STICH trialの研究は妥当であったか？－ 葉山ハートセンター心臓外科 センター長 磯村 正	◇共催 ※宮崎市郡医師会病 院 ☎0985-24-9119 バイエル薬品(株)
西都市西児湯医師 会学術講演会  (5単位)	10月2日(金) 19:00～ プリムローズ西都	一般医のためのうつ病と初期治療  若久病院長 前田 久雄	◇共催 ※西都市西児湯医師 会 ☎0983-43-1687
宮崎県警察医会総 会・特別講演会  (3単位)	10月3日(土) 15:10～17:00 宮崎北警察署	留置場健診の問題点(10分)  宮崎県警察医会幹事 大西 雄二 日本の死因究明制度－現状と今後の展望－ 東京都監察医務院 福永 龍繁	◇主催 ※宮崎県警察医会 ☎0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※=連絡先
第22回宮崎乳腺疾患研究会 (3単位) がん検診(乳)	10月3日(土) 15:30~18:00 ホテルJALシティ 宮崎 500円	2009年St. Gallen Concensus Conference の考え方 浜松オンコロジーセンター長 渡辺 亨	◇共催 宮崎乳腺疾患研究会 ※アストラゼネカ(株) ☎092-283-8150 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県外科医会 宮崎県産婦人科医会
宮崎県整形外科医 会研修会 (3単位)	10月3日(土) 15:45~18:00 県医師会館	日本の医療にカツ!! 竜操整形外科病院長 角南 義文	◇主催 ※宮崎県整形外科医 会 ☎0985-22-5118 ◇後援 久光製薬(株)
第12回宮崎NST研 究会 (3単位)	10月10日(土) 15:00~18:00 県総合保健センター 500円	胃瘻からの半固形栄養材短時間摂取法 香川大学医学部附属病院 腫瘍センター長 合田 文則	◇共催 宮崎 NST 研究会 宮崎県プライマリケ ア研究会 宮崎県栄養士会 宮崎県病院薬剤師会 ※(株)大塚製薬工場 ☎096-359-1808 ◇後援 日本静脈経腸栄養学会
平成21年度 延岡医学会総会 及び講演会 (5単位)	10月10日(土) 16:00~19:20 延岡市医師会病院	聴神経腫瘍の治療 宮崎大学医学部脳神経外科学教授 竹島 秀雄	◇共催 ※延岡医学会 ☎0982-21-1300
東洋医学学術講演 会 (3単位)	10月10日(土) 19:00~20:00 メインホテル	妊婦に対する風邪治療 東京海上ビル診療所婦人科・漢方科 頼 建守	◇共催 ※都城市北諸県郡医 師会東洋医会 ☎0986-22-0711 都城市北諸県郡医師 会内科医会 都城市北諸県郡医師 会産婦人科医会 大杉製薬(株)
第37回都城心臓血 管懇話会 (3単位)	10月14日(水) 19:00~20:20 都城ロイヤルホテル	冠動脈疾患における冠攣縮の意義 -CSAガイドラインを日常診療に活かす ポイント- 熊本大学循環器病態学教授 小川 久雄	◇主催 都城心臓血管懇話会 ◇共催 協和発酵キリン(株) (連絡先) ※都城市北諸県郡医 師会 ☎0986-22-0711

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※=連絡先
宮崎市郡医師会10月例会しのめ医学会特別講演会 (5単位)	10月14日(水) 19:00~ 宮崎観光ホテル	医療の場に夢を追って -医学の変遷を回顧しながら- 高野病院麻酔科部長 森岡 亨	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第1回宮崎乾癬研究会 (3単位)	10月15日(木) 19:30~21:00 宮崎観光ホテル 500円(学生無料)	乾癬治療2009 東海大学医学部皮膚科学教授 小澤 明	◇共催 宮崎乾癬研究会 ※田辺三菱製薬(株) ☎0985-32-9205
児湯内科医会学術講演会 (3単位)	10月15日(木) 19:00~ ホテル四季亭	呼吸器疾患の診断および治療のピット フォーラム 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌 代謝学教授 中里 雅光	◇共催 児湯内科医会 第一三共(株) ◇後援 ※児湯医師会 ☎0983-22-1641
南那珂医師会生涯教育医学会 (5単位)	10月16日(金) 18:45~20:00 南那珂医師会館	慢性期脳梗塞の治療戦略 -特に抗血栓療法について- 東海大学医学部神経内科教授 瀧澤 俊也	◇共催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 サノフィ・アベン ティス(株)
第8回宮崎県睡眠呼吸障害研究会 (3単位)	10月17日(土) 15:00~17:30 JA-AZMホール 500円	生活習慣病とSASの関連について 愛媛大学公衆衛生・健康医学教授 谷川 武	◇共催 宮崎県睡眠呼吸障害 研究会 ※帝人在宅医療(株) ☎0985-25-6613
第17回宮崎血管内治療IVR研究会 (3単位)	10月17日(土) 16:30~19:30 ホテルJALシティ 宮崎 500円	整形領域のインターベンション 聖路加国際病院放射線科特別顧問 沼口 雄治	◇共催 宮崎血管内治療IVR 研究会 ※バイエル薬品(株) ☎0985-60-2532
第134回宮崎県眼科医会講習会 (3単位)	10月17日(土) 17:00~19:10 宮崎観光ホテル 3,000円 (開業医・勤務医) 2,000円 (公的医療機関勤務医)	最近の糖尿病治療の進歩(仮) 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌 代謝学講師 水田 雅也 網膜硝子体疾患の病態と薬物治療の可能性(仮) 九州大学眼科学准教授 畑 快右	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※=連絡先
県民健康セミナー (5単位)	10月18日(日) 14:00～ 県医師会館	本当は怖い うつに克つために ーうつ病診療の最前線からー 東京女子医科大学神経精神科教授 坂元 薫 われわれは新型インフルエンザにどう対 応したらいいのか 東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野教授 押谷 仁 長寿社会とロコモティブシンドローム 整形外科医の役割 東京大学医学部整形外科教授 日本整形外科学会理事長 中村 耕三	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
南那珂呼吸器疾患 カンファランス (3単位)	10月20日(火) 18:15～19:30 県立日南病院	市中肺炎の治療戦略 ーニューキノロンの使い所, 見送る場面ー 宮崎大学医学部免疫感染症病態学 講師 長友 安弘	◇共催 県立日南病院医療企 画部医療連携科 ※第一三共(株) ☎0985-23-5710 ◇後援 南那珂医師会
佐土原医師会学術 講演会 (3単位)	10月21日(水) 19:00～ ワールドコンベン ションセンターサ ミット	当院での循環器診療ー心血管イベントの total managementー 宮崎市郡医師会病院循環器科医長 柴田 剛徳	◇主催 佐土原医師会 ◇共催 ※ファイザー(株) ☎080-5501-9694
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (5単位)	10月22日(木) 18:45～21:00 ガーデンベルズ小林	脂質代謝異常ではなぜ動脈硬化/血栓症と なるのかーその成因と予防・治療ー 鹿児島大学血管代謝病態解析学教授 丸山 征郎	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 西諸内科医会 ◇共催 持田製薬(株)
宮崎市郡産婦人科 医会10月例会 (3単位)	10月22日(木) 19:00～ 宮崎観光ホテル	わが国の生殖医療の現状と将来 山梨大学理事 星 和彦	◇共催 ※宮崎市郡産婦人科 医会 ☎0985-53-3434 久光製薬(株)

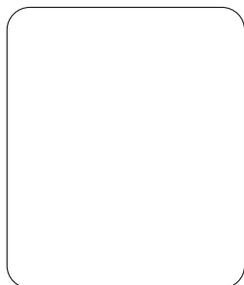
名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※=連絡先
宮崎市郡内科医会 学術講演会 (3単位)	10月22日(木) 19:00~21:00 MRT-micc	意外と知らない過敏性腸症候群(IBS) 宮崎大学医学部消化器血液学助教 山本 章二郎 過敏性腸症候群(IBS)のすぐ役立つ鑑別法 と治療経験 竹迫外科内科医院副理事長 柴田 直哉	◇共催 ※宮崎市郡内科医会 ☎0985-53-3434 アステラス製薬(株)
延岡医学会学術 講演会 (5単位)	10月23日(金) 18:45~20:30 ホテルメリージュ 延岡	ARBをベースとした降圧療法の最新スト ラテジー：新規ARBイルベサルタンの位 置づけ 福岡大学医学部心臓・血管内科 准教授 三浦 伸一郎	◇共催 延岡医学会 ※大日本住友製薬(株) ☎0985-29-5855 ◇後援 延岡内科医会
第11回宮崎Brain Attack研究会 (3単位)	10月23日(金) 19:15~20:45 ワールドコンベン ションセンターサ ミット 1,000円(学生無料)	脳卒中ケアユニットによる脳梗塞急性期 医療 徳島大学脳神経外科学教授・脳卒中 センター長 永廣 信治	◇共催 宮崎 Brain Attack 研究会 ※田辺三菱製薬(株) ☎0985-32-9205
第41回宮崎県スポ ーツ医科学研究会 (3単位)	10月24日(土) 15:00~19:00 県医師会館 1,000円	足部へのアプローチが下肢機能に与える 影響 はちすばクリニック副院長 川野 哲英 最近のスポーツ歯学 マウスガードの新たな役割についてー 日本大学松戸歯学部口腔機能学 専任講師 鈴木 浩司 テニス肘の診断・治療とJTAメディカル サポートについて 聖マリアンナ医科大学整形外科学 教授 別府 諸兄	◇共催 宮崎県スポーツ医科学 研究会 ファイザー(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形 外科学教室 ☎0985-85-0986
宮崎医師漢方研究 会 (3単位)	10月27日(火) 18:30~20:30 宮崎観光ホテル 2,000円	勿誤薬室「方函」「口訣」の解説 日本東洋医学会名誉会員 木下 恒雄	◇共催 宮崎医師漢方研究会 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663 ◇後援 宮崎市郡医師会
木曜会学術講演会 (3単位)	10月29日(木) 19:00~20:20 都城ロイヤルホテル 500円	食道・胃静脈瘤の病態と治療 福島県立医科大学附属病院内視鏡 診断部教授 小原 勝敏	◇主催 木曜会 ◇共催 エーザイ(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※=連絡先
江南医療連携の会・ 特別講演会 (3単位)	10月30日(金) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル 500円	日常診療で遭遇し得る循環器疾患 -最近の診断・治療の話題- 宮崎大学医学部循環体液制御学講師 今村 卓郎	◇共催 ※江南医療連携の会 ☎0120-855-082 (宮崎江南病院内) エーザイ(株)
第8回宮崎内視鏡 外科研究会 (3単位)	10月30日(金) 19:00~21:00 宮崎観光ホテル 500円	定型化された腹腔鏡下肝切除の手技 岩手医科大学外科学教授 若林 剛	◇主催 宮崎内視鏡外科研究会 ◇共催 ※ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株) ☎092-441-3774
宮崎市郡外科医会 10月例会 (3単位) がん検診(肺)	10月30日(金) 19:10~20:10 宮崎観光ホテル	肺癌治療の現況(仮) 海老原病院副院長 松崎 泰憲	◇主催 ※宮崎市郡外科医会 ☎0985-53-3434
延岡医学会学術講 演会 (5単位)	10月30日(金) 19:00~20:30 ホテルメリージュ 延岡	新しい糖尿病の治療 -夜明け前のインクレチン製剤- 熊本医療センター内分泌代謝内科 医長 豊永 哲至	◇共催 延岡医学会 ※万有製薬(株) ☎0120-860-744 ◇後援 延岡内科医会
第10回IBD講演会 (3単位)	11月5日(木) 19:00~21:00 ホテルJALシティ 宮崎	新しい時代に入った炎症性腸疾患治療を 考える 東京医科歯科大学消化器内科教授 渡辺 守	◇共催 宮崎県内科医会 ※杏林製薬(株) ☎0985-27-3301
平成21年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (5単位) がん検診(肺・乳・胃 ・大腸)	11月7日(土) 15:00~17:10 都城市北諸県郡医師 会館	肺がん診療の現状と今後の治療戦略に ついて 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌 代謝学 芦谷 淳一 これならできる!乳がん診療 県立宮崎病院外科 大友 直樹 胃癌の画像診断 宮崎大学医学部循環体液制御学 稲津 東彦 大腸がんのスクリーニング検査 県立宮崎病院放射線科 藤本 正樹	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※=連絡先
「皮膚の日」講演会 (3単位)	11月8日(日) 14:00~15:30 宮日会館	食用油(中性脂肪)のことを詳しく知ろう -必須脂肪酸,EPA,DHAとは何なのか?- 青木皮膚科 出盛 允啓	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 日本臨床皮膚科医会 ◇後援 厚生労働省 日本医師会 宮崎県医師会 NHK (連絡先) 青木皮膚科 ☎0985-23-2011
宮崎在宅医療実践 のための講演会 (3単位)	11月14日(土) 16:45~19:30 県医師会館	長崎における在宅医療の現状と課題 -多職種連携の視点から- 白髭内科医院院長 白髭 豊	◇主催 宮崎緩和ケア研究会 ◇共催 ※宮崎県医師会介護 支援専門員連絡協議 会 他 ☎0985-22-5118
平成21年度宮崎県 難病研修会 (3単位)	11月14日(土) 13:30~16:30 県立図書館	遺伝診断を行う際に考慮すべきこと 宮崎大学医学部附属病院遺伝カウンセ リング部長・産婦人科 講師 山口 昌俊 遺伝性疾患の診断と診療 藤元早鈴病院神経内科部長 橋口 昭大	◇主催 ※宮崎県難病医療連 絡協議会 ☎0985-56-8159
平成21年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (5単位) がん検診(肺・乳・胃 ・大腸)	11月21日(土) 15:00~17:10 延岡市医師会病院	肺がん診療の現状と今後の治療戦略に ついて 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌 代謝学 芦谷 淳一 これならできる!乳がん診療 県立宮崎病院外科 大友 直樹 胃癌の画像診断 宮崎大学医学部循環体液制御学 稲津 東彦 大腸がんのスクリーニング検査 県立宮崎病院放射線科 藤本 正樹	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県
宮崎県精神神経科 診療所会学術講演 会 (3単位)	11月21日(土) 19:00~20:00 ホテルスカイタワー	精神障害の労災認定 -心理負荷表の見直しを含めて- 東邦大学佐倉病院精神科教授 日本総合病院精神医学会理事長 黒木 宣夫	◇主催 宮崎県精神神経科診 療所協会 ◇共催 グラクソ・スミスク ライン(株) (連絡先) 細見クリニック ☎0985-35-1100

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※=連絡先
宮崎大腸肛門疾患 研究会平成21年秋 季講演会 (3単位)	11月27日(金) 19:00~20:30 県医師会館 1,000円(会員及び コメディカルは無料)	炎症性腸疾患に対する外科治療の最近の 動向 福岡大学筑紫病院外科准教授 二見 喜太郎	◇共催 宮崎大腸肛門疾患研 究会 武田薬品工業(株) 天藤製薬(株) (連絡先) クリニックうしたに ☎0985-52-8080
日本医療マネジメ ント学会第3回宮 崎県支部学術集会 (3単位)	11月28日(土) 10:00~16:00 宮崎市佐土原総合文 化センター“さどわら くじら館” 1,500円	宮崎県の医療マネジメントの現状と未来 (仮) 県立宮崎病院長 豊田 清一 癌と連携パスについて(仮) 九州がんセンター統括診療部長 藤 也寸志	◇主催 日本医療マネジメ ント学会宮崎県支部 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県栄養士会 宮崎県歯科医学会 他 (連絡先) 古賀総合病院 QMS 統括室 ☎0985-39-0374
平成21年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (5単位) がん検診(肺・乳・胃 ・大腸)	11月30日(月) 19:00~21:10 県医師会館 (TV会議:都城・延岡・日 向・児湯・西都・西諸・西白 杵)	肺がん診療の現状と今後の治療戦略に ついて 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌 代謝学 芦谷 淳一 これならできる!乳がん診療 県立宮崎病院外科 大友 直樹 胃癌の画像診断 宮崎大学医学部循環体液制御学 稲津 東彦 大腸がんのスクリーニング検査 県立宮崎病院放射線科 藤本 正樹	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県
宮崎糖尿病治療研 究会 (3単位)	12月11日(金) 18:45~20:30 宮崎観光ホテル	2型糖尿病の新しい治療戦略 ーインクレチンの投与意義を中心にー 東京大学代謝栄養病態学教授 門脇 孝	◇共催 宮崎糖尿病治療研 究会 ※小野薬品工業(株) ☎0985-50-0173 ◇後援 宮崎県医師会
平成21年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (5単位) がん検診(肺・乳・胃 ・大腸)	12月17日(木) 19:00~21:10 県医師会館 (TV会議:都城・延岡・日 向・児湯・西都・西諸・南那 珂)	肺がん診療の現状と今後の治療戦略に ついて 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌 代謝学 芦谷 淳一 これならできる!乳がん診療 県立宮崎病院外科 大友 直樹 胃癌の画像診断 宮崎大学医学部循環体液制御学 稲津 東彦 大腸がんのスクリーニング検査 県立宮崎病院放射線科 藤本 正樹	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県

## 私 の 本



宮崎市 永吉整形外科医院

いわ きり きよ ぶみ  
岩 切 清 文

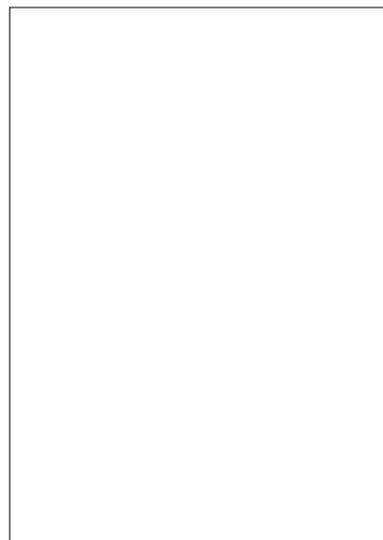
## 実践「透析ノート」

発行所（資池 畑 印 刷）

定 価 1,000 円(送料別)

整形外科医として診療を続けながら、透析という医療に自分の命を委ねる立場となり、30年を過ぎました。透析医療で最も大切なことは、日常の食事管理と適度の運動であるということは常に力説されていますが、具体的にその実行の方法が理解されていないのが実情と思われま

さらに、多くの疾患の中でも、透析医療では外来治療としては最も濃厚な検査が定期的に行われているのですが、毎月 2 回検査結果が手渡されるたびに一喜一憂される姿は日常の風景です。そしてその検査値がよくなかった理由は、検査前に食べた特定の食品だったらしいと反省するところで終わってしまうのです。これでは食事管理はできません。中 2 日の間に摂取した食品全部の結果が検査値としてあらわれているのですから、面倒でも、一定の検査項目について、摂取した食品全部の量を計算しなければ比較することはできません。もうひとつ、透析患者の生命予後を左右しているのは合併症です。この合併症の発生、進展を予測するのに大事なのが、検査値の変化です。ところがせっかく手渡されたデータが整理されていません。勿体ないことです。食品成分表と検査表は自分で記入して頂くために付録として入れました。透析医療への患者さん自身の参加を切望してこの本をつくりました。



## 診療メモ

## 新型インフルエンザ

宮崎市保健所長 ^{たき} 瀧 ^{ぐち} 口 ^{しゅん} 俊 ^{いち} 一

今回の新型インフルエンザ(A/H1N1pdm)は、コロンビア大学などの研究では人と鳥、2種類の豚計4種のウイルスが混合していることが分かっている。人香港型(H3N2)・北米豚型(H1N1)・鳥型が遺伝子交雑した1998年北米流行の豚型(H3N2)と北米豚型(H1N1)が交雑した北米豚型(H1N2)とユーラシア豚型が交雑して誕生した。

4月25日ロイター通信は、これまで見られたことのないインフルエンザウイルスにより6人がメキシコで死亡し、WHOが豚インフルエンザH1N1と同じ遺伝子構造をしていることを確認したとするニュースを世界に配信し、日本政府は4月28日に新型インフルエンザ(以下新型フルという)の発生を宣言して検疫を中心とした水際対策など感染拡大防止にあたってきた。その後、WHOは5月30日に新型フル警戒レベルを「フェーズ5」へ引き上げ、さらに6月1日にフェーズ6のパンデミック宣言をし、現在世界中で流行しており、死亡者も3,000人を超えている。WHOの推定では今後2年間で世界の20億の人々が感染するとしている。宮崎県内でも6月17日に最初の患者が日南市で診断され、その後徐々に増加し、7月6日からのクラスターサーベイランスへ移行後も発生が拡大、第33週(8月10日~16日)のインフルエンザ定点あたり報告数が1.69と1.0を超え、報告のほとんどが新型フルであり本格的な流行期に入った。厚生労働省は8月28日、今回の新型フルによる国内の患者数は年内に約2,500万人、人口の20%に達するとの推計罹患率に基づいた「流行シナリオ」を発表。入院する人の割合(入院率)は1.5%(約38万人)、0.15%(約4万人)が重症化してインフルエンザ脳症や人工

呼吸器装着になると予測。基礎疾患(持病)を持つ人や乳幼児に感染が広がった場合、入院率は2.5%、重症化率も0.5%に達するとみている。

これまで得られた新型フルに関するエビデンスは、潜伏期は1日から7日(中央値3~4日)、一人が何人に感染させるかの感染力(基本再生産指数)は1.6~3.1、季節性インフルエンザは1.3(0.9~2.1)であり、季節性と同等かやや上回る感染力といえる。年齢の中央値は12歳から20歳と若年者に多いのが特徴であり、5月の国内患者の80%は10代であった。現在の県内でのクラスターも高校生以下の部活や塾等の若年者がほとんどである。米疾病対策センター(CDC)は8月27日、5~14歳の子供は60歳以上の高齢者に比べ14倍も新型フルに感染する可能性が高いとする報告を発表している。臨床症状では、発熱、咳が80%以上、悪寒、咽頭痛が60%以上、全身倦怠感、頭痛が40%以上、鼻汁・鼻閉、関節痛、筋肉痛、下痢・嘔吐が20%以上、痰、腹痛、結膜炎が20%未満の患者にみられた。検査所見では、神戸市の調査で迅速診断キットの発症日の陽性率57.1%、1日後87.5%、2日後57.1%であり、発症初期及び数日以降には感度が下がるため、結果が陰性でも感染を否定できず注意が必要である。

入院については、確定例の2~9%が入院し、そのうち8~36%がICU管理となり、13~14%が人工呼吸器管理を必要とした。入院患者の40~70%が基礎疾患を持ち、妊娠可能年齢の女性の28%が妊婦であった。基礎疾患を有する者等とは、妊婦、幼児、高齢者、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、代謝性疾患(糖尿病等)、腎機能障害、

免疫機能不全(ステロイド全身投与等)等を有しており治療経過や管理の状況等を勘案して医師により重症化へのリスクが高いと判断される者等である。日本で9月1日までに入院した579例中25例に基礎疾患(一部重複)があり、妊婦5、慢性呼吸器疾患(喘息等)138、代謝性疾患(糖尿病等)23、腎機能障害16、慢性心疾患15、免疫機能不全(ステロイド全身投与等)4、その他98となっている。CDCは、7月29日、妊婦の重症化リスクは4倍高いとする研究結果を発表した。4月中旬から5月中旬の1か月間、新型フルが確定した妊婦は34人で、うち3分の1の11人が入院。感染者全体の入院割合は8%で妊婦が4倍高い結果となり、6月中旬までの2か月間に妊婦6人が死亡し、いずれも肺炎に罹患していた。

新型フル合併症の脳炎については、県内での1歳男児のインフルエンザ脳症を含め国内で8月中に10例が報告されているが、ほとんど後遺症を残さず回復している。また、重症例として茨城県のインフルエンザ脳症の4歳男児等若年者を中心に22例が8月中に肺炎等による呼吸困難となり人工呼吸器管理が必要となった。さらに、新型フルによる国内第1例目となる死亡者の報告が8月15日沖縄県よりあり、以後8月中に30代から80代まで8例報告された。患者のほとんどは慢性腎不全、人工透析、糖尿病、肺気腫、多発性骨髄腫、心不全等の基礎疾患があった。新型フルの致死率は季節性の0.1%より高い0.45%とされているが、多くの軽症例が報告されていないことを考慮するとさらに低いと考えられる。メキシコなど国によっては高い致死率のところもあり、医療体制や経済状況等の違いが指摘されており、日本における死亡例の少なさは特筆されるが、今後の流行拡大とともに死亡者の増加が懸念される。

治療については、特に重症化防止の観点から、妊婦や基礎疾患のある患者については、ノイラミニダーゼ阻害剤の早期投与(流行状況及び有症者との接触を勘案し、検査結果を待たずに臨床

症状にて投与)が勧告されている。体内でウイルスが増え炎症過程が進行してからでは抗ウイルス剤の効果は期待できない。小児について、CDCは神経学的合併症予防の観点から「入院を要するようなケースに関しては診断確定前であっても、急いで抗ウイルス治療を開始しておく必要がある」としている。健康上、何ら問題のない若年者が発病して、急速に呼吸不全に陥る事例が報告されており、留意する必要がある。

タミフル耐性ウイルスについて、国内でも大阪、山口、岩手、徳島などでノイラミニダーゼの遺伝子配列の一部に耐性を示す突然変異が見つかったが、現時点で耐性ウイルスの拡大はないとされている。なお、リレンザ耐性ウイルスの報告はない。

感染防止対策については、医療従事者の院内感染が報告されているが、感染は飛沫感染及び接触感染であり、外来等の診療においてはサージカルマスクと頻回の手洗い(手袋)、吸引等の医療処置の場合にはN95マスクとゴーグル、手袋による対応で十分とされている。

ワクチンについて、国内メーカー4社のうち7月中に2社が生産を開始、残り2社も8月中に開始し今年度中に約1,800万人分が用意され、新型フル患者診療に従事する医療従事者を最優先に重症化しやすい者等に接種される予定である。不足分の輸入が検討されているが、安全性の確保や製造国の輸入に批判的意見がある。一方、死亡例の40%に細菌性肺炎合併の報告があり、高齢者への肺炎球菌ワクチン接種も考慮する必要がある。

終わりに、新型インフルエンザ(A/H1N1pdm)について概説しましたが、今後の流行拡大に向けて重症化しやすい人への感染防止と感染した場合の適切な医療へのアクセスの確保(特に入院病床と人工呼吸器の確保)をいかにするかが大切と考えています。医師会の先生方におかれましては、適切な医療提供と院内感染防止対策に努めていただきますようお願いいたします。

## おしえて！ドクター 健康耳寄り相談室

MRT ラジオ

毎週土曜日 午前 1 時 25 分 ~ 1 時 35 分 放送

排尿障害を副作用に持つ  
お薬について

(平成 2 年 7 月 18 日放送)

泌尿器科医会 佐藤 幸憲

日本医薬品集には約 1 万 8 千品目が収載されていて、医療現場で多くの医師によって疾病の改善の目的で処方されている。効能以外に副作用も散見される中、今回は、上記の主題についてお話をすることにした。

1. 総合感冒剤 (コデイン類, エフェドリン類, 抗コリン剤)
2. 抗アレルギー剤
3. 筋弛緩剤
4. 抗不整脈剤
5. 交感神経遮断剤 & Ca 拮抗薬等の降圧剤
6. 抗精神薬 (抗躁鬱剤・抗パーキンソン剤)
7. 過活動膀胱治療剤・頻尿治療剤
8. アルコール・麻薬
9. 消化性潰瘍治療剤・胃腸炎治療剤

「寛解」を目指した関節リウマチの  
治療について

(平成 2 年 7 月 25 日放送)

内科医会 日高 利彦

関節リウマチ (以下 RA) の治療目標は寛解である。寛解を目指すのに必要なことは、早期診断と早期治療である。寛解に導くためには、寛解導入率が高く、寛解導入までのスピードが速い、更に寛解の維持が容易で副作用プロフィールに優れている薬剤を使用する必要がある。これらの条件を満たすメソトレキサート (MTX) を中心とした抗リウマチ薬と炎症性サイトカイン TNF を標的とした生物学的製剤が、寛解導入のための原動力となる。寛解を目指すため、平成 20 年に生物学的製剤のガイドラインが改定になり、重症な患者さんだけでなく、活動性が残存している患者さんや関節破壊進行を認める患者さんにおいても、積極的に TNF 阻害療法の適応を考慮できるようになっている。より多くの患者さんに生物学的製剤を使用することができるようになり、今後、RA の苦しさから解放される患者さんが増えることが期待される。

## 伝染性膿痂疹(とびひ)について

(平成 2年 8月 1日放送)

皮膚科医会 津 守 伸一郎

伝染性膿痂疹は初夏から夏にかけて、子供に多い皮膚病です。あせもや湿疹、虫刺されなどをかきむしったところに、ブドウ球菌や溶連菌などが感染して炎症を起こし、かゆみのある水疱やかさぶたをつくります。「かゆいかゆい」とかきこわすと、まるで「飛び火」のように全身に広がります。

治療は基本として抗生物質内服や軟膏を状態に応じて処方します。ステロイド外用剤の使用は賛否両論あるようです。かゆみが強いときや浸出液が多いときに症状に応じて使うこともありますが、不注意な使用は症状を悪化させることもあります。創面はシャワーで浸出液や水疱を取り除くように洗うことが必要です。完全に治るまで根気よく治療を続けます。全身症状としてブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群(SSSS)や、溶連菌による膿痂疹ではまれに腎炎を発症することもあります。発症予防の面からも皮膚の清潔を心がけてください。手洗いの励行、爪は短めに。また鼻孔周囲の傷から始まる場合が多いので鼻をよくいじる子は要注意です。

## みみ・はな・のどの異物

(平成 2年 8月 8日放送)

耳鼻咽喉科医会 牧 元 宏

耳鼻咽喉科で扱う異物は、耳・鼻・のど・食道・気管に入るとれなくなった場合である。外耳道・鼻腔・咽喉頭に入る大きさの物なら、それらすべてが異物となり得る。

異物で注意すべきは、気道異物による窒息である。気道異物による窒息の対処法は、指やスプーンでかき出す、小さい子供は身体を逆さにして背後をたたき、ハイムリック法、緊急気管切開、などあるがいずれにしても迅速な対応が必要となる。

異物を未然に防ぐには、幼児に関しては耳・鼻・のどに入る大きさのものを近くに置かない。食べ物を口に含んだまま遊んだり走ったりすると、転倒して気管に入ることがある。従って当然のことだが、座って食べるように注意し習慣づける。

小学生では、マスコミにとりあげられたが、給食で早食い競争をしてのどにつまらせて死亡した事故があった。そのあたりの指導も必要である。またコインや鉛筆キャップを口にくわえていると誤って飲みこむこともあるので、食べ物以外は口にくわえない。

老人は嚥下機能が低下しているので、日頃からよくかんで細かくしてから、ゆっくり飲みこむようにする。それによって気道や食道の異物を防ぐことができる。

### 今後の放送予定

平成 2年 10月 1日(出)	内 科 医 会	上 園 繁 弘
10月 24日(出)	放 射 線 科 医 会	黒 木 正 臣
10月 31日(出)	皮 膚 科 医 会	東 久美子
11月 7日(出)	透 析 医 会	未 定
11月 14日(出)	耳 鼻 咽 喉 科 医 会	坪 井 康 浩

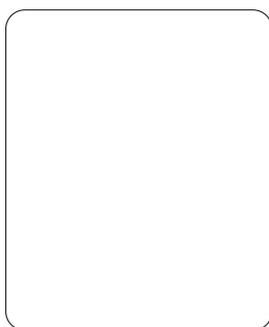
宮大医学部学生からのお知らせ

## 宮大医学部学生からのお知らせ

## 宮崎大学清花祭特別講演会

## 「まじめとけじめとユーモアと」

講師 生島 ヒロシ さん



生島 ヒロシ さん

日 時 2009年 11月 7日(土)  
開場 13: 30 開演 14: 00  
会 場 清武町文化会館 半九ホール  
主 催 宮崎大学清花祭実行委員会  
共 催 清武町文化会館  
後 援 宮崎日日新聞・M R T 宮崎放送・清武町・  
宮崎大学医学部後援会  
料 金 参加無料

## 応募方法

はがき：〒 889-1692 宮崎郡清武町大字木原 5200 清花祭実行委員会

清花祭公式ホームページ：<http://www.kiyoka.jp>

いずれかの方法で、住所・氏名・年齢・電話番号・観覧希望人数(お一人様 2名まで)を明記の上、お申し込みください。チケットをご住所まで送付いたします。

なお、応募多数の場合は先着順とさせていただきます、発送をもって代えさせていただきます。

宮崎大学清花祭講演会企画 ☎ 0985-84-1340

代表 鈴木 ☎ 090-6624-2260

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。

送付日	文 書 名
8 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令等の通知について</li> <li>・感染症法施行規則の一部を改正する省令の施行について</li> </ul>
8 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工呼吸器呼吸回路における気道内圧モニター用チューブに係る添付文書の自主点検等について</li> </ul>
8 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産育児一時金等の代理申請・受取請求に係る記録条件仕様について</li> <li>・「平成 2 年 7 月中国・九州北部豪雨」及び「平成 2 年台風 9 号」の被災に伴う地方公務員共済組合及び警察共済組合の短期給付関係の事務処理について</li> <li>・材料価格基準の一部改正等について</li> <li>・医療機器の保険適用について</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料(その 9)」の送付について</li> <li>・「医療機器の保険適用について」の一部訂正について</li> </ul>
8 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う運用の変更について(Q &amp; A 等)</li> <li>・インターフェロン療法に対する公費助成を受けた B 型・C 型肝炎患者の治療成績に関する全国規模のデータベース構築に関する研究に係る協力依頼について</li> <li>・「高齢者の住居の安定確保に関する法律の一部を改正する法律」の施行について</li> <li>・「救急救命処置の範囲等について」の一部改正について(依頼)通知の送付について</li> <li>・健康管理手帳所持者に対する健康診断事業にかかる公募について</li> </ul>
9 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療再生臨時特例交付金に関する Q &amp; A (追加版)の送付、及び情報提供のお願いについて</li> <li>・「病原微生物検出情報」、「病原微生物検出情報(普及版)」の送付について</li> </ul>
9 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型インフルエンザ患者数の増加に向けた医療提供体制の確保等について</li> <li>・高齢者居住安定化モデル事業について</li> <li>・「消防法の一部を改正する法律の施行期日を定める政令」の公布について</li> </ul>

送付日	文 書 名
9月5日	・サリドマイド製剤の入院時持参薬の取扱いについて
9月7日	・医療法人の附帯業務の拡大について
9月15日	・抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について
9月16日	・医療機関における新型インフルエンザ院内感染対策の徹底について ・季節性インフルエンザワクチンの安定供給対策について
9月24日	・新設される分娩機関への「産科医療保障制度」の案内に関するご協力をお願い ・分娩機関の新設に係る「産科医療保障制度」の加入促進について ・平成 22年度「日本医師会生涯教育制度」実施要綱について ・抗インフルエンザウイルス薬の使用上の注意に関する注意喚起の徹底について ・医薬品・医療機器等安全性情報第 261号の速報について ・厚生労働省が行う保険医療材料等使用状況調査に対する協力について ・出産育児一時金等の直接支払制度等に関する Q & A について ・平成 22年度医薬品価格調査に対する協力について ・医療機器の保険適用について ・「医療機器の保険適用について」の一部訂正等について
9月25日	・インフルエンザワクチンの適正使用に関するお願い ・新型インフルエンザの流行に伴う診療報酬上の対応について ・平成 21年台風第 9号による被害に関する診療報酬の請求等の取扱いについて及び平成 21年台風第 9号による被災者の公費負担医療の請求等の取扱い等について

-----

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	c	a	d	d	d	a ,b	d	a	e

## 読者の広場

日州医事 9 月号へいただいたご意見・ご感想を紹介します。

- 第 3 回宮崎の医療を考える会 輪番制のもたらした影響、および輪番制を担っている医師の現況について（広報委員会 荒木康彦委員長）を読んで

この中で勤務医の過重労働についての意見が多く寄せられていました。コンビニ受診やモニターペイシエントの問題など、一般市民が協力して頂けないと解決できない問題です。県立延岡病院や県立日南病院では、市民が協力して地元の医療を守ろうと努力していることを新聞等で報じられています。宮崎市においても県立宮崎病院や市郡医師会の輪番制を守る上でもう少し市民側からの協力がほしいと思います。医療資源には限りがありますので、医療崩壊を防ぐ上で勤務医環境の向上を市民とともに考え、新しい医師が宮崎で働きたい環境を整備してほしいと感じました。

- 「日医 FAX ニュースから」と「医事紛争情報」について

今回は「日医 FAX ニュースから」と「医事紛争情報」を取り上げてみました。この 2 つが果たして必要な記事かどうかという取り上げ方です。どちらもこのニュースの内容の軽重を問題にするものではありません。

日医ファックス情報は、他のメディアで入手できます。日医 FAX ニュースやメールからでも入手できます。これらの手段を持たない会員のために果たしている役割はあると思いますが、日州医事の記事で情報をキープしておられる会員の数はどんなものでしょう。このページで取り上げられた記事は全てではないと思われます。ある期間の選ばれた情報と推測します。となれば、なおのことです。

同様な意味で、医事紛争に関する情報は知りたい情報であることには間違いありません。しかし、これらの情報は、速くて正確なものが必要とされます。刻々変わっていく情報に月刊誌ではついていけません。

このような事情から、これらに記事の果たしている役割について再考されてもいいのではないかと考えてみました。

- 「あとかき」を読んで

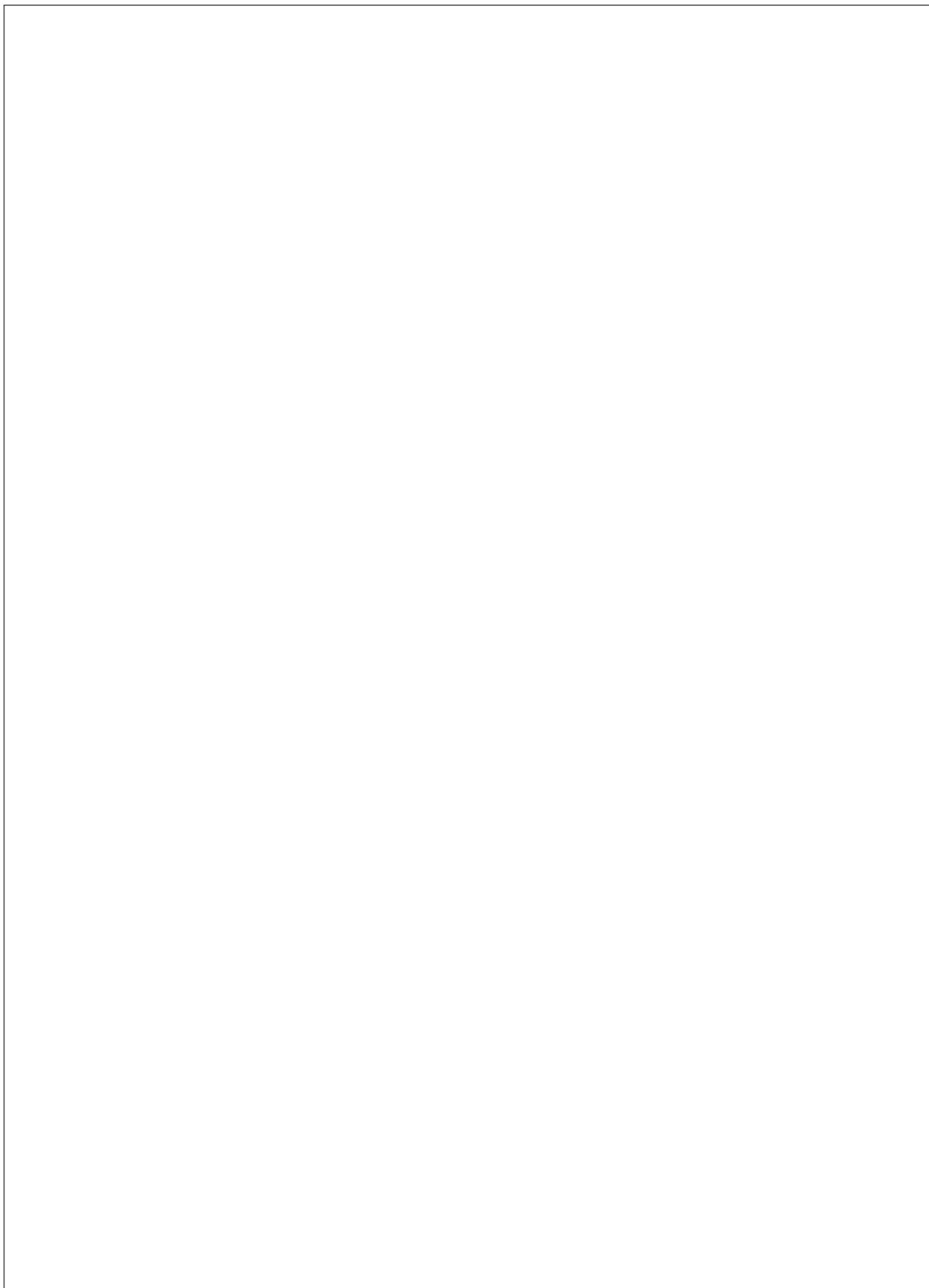
あとかきで下園先生が生命保険の診断書の統一について述べられていましたが、勤務医の仕事量を減少させるすばらしい成果だと思えます。このように直接勤務医の労働環境が改善する方策が実現することを希望します。

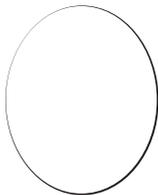
広報委員会より

日州医事に掲載している「日医 FAX ニュースから」は、会員の方に読んでいただきたい記事で、短期で刻々と状況が変わるものではない記事を選んでおります。また、「医事紛争情報」につきましては、医療事故等の判決をすばやくお伝えすることよりも、どのような医療事故でどのような判決がでるのかをポイントとした記事を選択しております。ご指摘の通り、どちらも一部の記事のみの掲載となりますが、「日医 FAX ニュース」の全記事は日本医師会ホームページのメンバーズルームからご覧になれます。日医の白クマ通信や県医のメーリングリストに登録されますと、自動的に見出しのリストが配信されますので、最新記事はこちらからご覧ください。ご意見、ありがとうございました。

日州医事では、会員の皆さんからのご意見を募集しています。

（宮崎県医師会 FAX 0985 - 27 - 6550）





この原稿を書いている 9 月 23 日はシルバーウィーク最終日です。快晴にも恵まれ、全国の観光地は行楽客で賑わったようです。こんなにみなが楽しめるのなら、秋の連休を恒例としても良さそうですが、次のシルバーウィークは 6 年後。はて、6 年後の子供たちの年齢を考えると・・・長女はさすがに家族旅行に付き合ってくれそうもありません・・・

そんな浮かれたシルバーウィークですが、政権与党となった民主党の動きはなかなか活発です。政治主導の御旗の下、国家戦略局や行政刷新会議など聞きなれない部署を立ち上げ、マスコミも大きく取り上げています。今まで政治には関心を示さなかった人まで、何かが変わるのではと興味津々。なんとといってもマニフェストを掲げての大勝利。一つ一つの政策は国民のお墨付きをもらったも同然ですから勢いがあります。一方の自民党。総裁選の盛り上がりもいまひとつ。「総括」とか「解党的出直し」などの文字が新聞紙上に載るばかりです。そんな中、日本経団連や日本歯科医師連盟は今回の政権交代を踏まえ、来年夏の参院選で独自の候補擁立や特定の政党の応援はしないと決定されたようです。

さて、医師会の方でも茨城県医師会長の原中氏のように、ちょっと過激に医師会刷新を訴える先生も居られます(m3.com 医療維新)。そんな世間の興奮をよそに、とりあえず事の成り行きを静観する構えの医師会。さて、国の政策は・・・、医師会は・・・、変わる・・・？今後の成り行きをしっかりと見守っていきたいものです。(坪井)

今年はいつになくインフルエンザワクチンに関する問い合わせが多くなっています。いつ頃から受けられるのか、接種の対象になる慢性疾患の種類は？その費用は？その一方、感冒症状があればインフルエンザの迅速検査を受けるよう会社や学校から強く求められたり、インフルエンザに罹患すると無症状の家族まで出社、登校を拒否される事態まで起きています。正確な情報の伝達不足かもしれません。もうすぐ始まる新型のワクチン接種、無用の混乱は避けたいものです。(荒木康)

シルバーウィーク・・・皆様どのように過ごされましたか？こんなに長いGW 以外の連休は、次は 6 年後、なんとその次は 2026 年からしく「え～そんなことならもっと有意義に過ごせば良かったなあ」なんて思っているのは私だけでしょうか。もっとも県内の行楽地は、GW をしのぐ異状な賑わいで・・・民主党新政権への期待をこめた(とは言いつつ多少不安な気持ちもあって、ちょっと中途半端な)お祭り気分？！とても言いましょうか・・・このまま、政治も経済も、そして医療も上向きになることを心から祈っています。(和田)

「官僚たちの夏」というドラマが好きで毎週見ていました。敗戦直後の日本で、国を豊かにしようと国民のために懸命に働く通産官僚の姿を描いています。国家を背負っているのだという強い責任感を持ち、いろんな困難な問題に情熱を持って取り組み、その情熱が人を動かしていく姿を見て、とても胸が熱くなりました。その生き方にすごく惹かれました。自分も医療を行っていく上で、熱い心を失わないようにしたいです。(真川)

9 月 15 日、新聞各紙の一面トップは、イチロー選手の大リーグ新記録達成の記事で飾られました。イチロー選手の飽くなきチャレンジ精神に全く感服致します。ところで、私なりに今年の夏も、昨年に引き続き、折りたたみ自転車を持って「しまなみ海道」にチャレンジしてきました。JR とフェリーを乗り継いで四国に渡り、翌朝、今治をスタートし、尾道

に達しました。走行距離は約 80km、丁度 8 時間の走行でした。走行中、瀬戸内海の景色の素晴らしさに目を奪われ、のんびり楽しく走行できたのが昨年との一番の相違点でした。この分では、何とかもうしばらく仕事ができそうです。(川野)

勤務医の頃から連休明けは仕事もたまり、体調が休みモードからぬけず、飛び石連休の方が好みでした。開業すると毎日創傷処置に通われている患者さんの対応を考えたり、休み前に診察した具合の悪い患者さんのことが気になったりと長い連休は単純に喜べません。今回のシルバーウィークも連休開始前に「(連休明けの)9 月 24 日が日州医事編集委員会です」と校正原稿の入った厚手の封筒が届きました。連休中に原稿の校正をしながらこの「あとがき」を書いています。(田坂)

8 月の下旬、高千穂へ僻地医療実習に行きまして。救急搬送にかなりの時間を要することや、当直医は自分の専門外も当たり前のように診なければならぬということ・・・等、僻地ならではの苦労を知ると共に、その医師が「患者さんの人生を診る」と言ってもらったように、医師と患者、また患者の家族との関わりの深さも感じることができました。僻地の医療もなかなか魅力的だなあ・・・。将来の選択肢がまた 1 つ増えた夏でした。(川崎)

政権交代が実現しました。驚くべきことに旧与党幹部は、ぎりぎりまで過半数だけは取れるものと思っていたようです。日医はどうだったのでしょうか。今後新政権との対話がスムーズにいくことを祈るばかりです。幸いにも新しい与党は現場の医師との対話を歓迎しているようです。日医だけに任せないで我々一人一人も、機会を捉えて代議士と接触し、現場の声を伝えていくように努力したいものです。政党を問わず、医療現場のよき理解者を一人でも増やしていくことが近道ではないでしょうか。(済陽)

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

## 日州医談 総合医(仮称)認定制度

総合医とは、地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師として位置付けられます。創設過程にある本制度の概要について松本先生が解説しておられます。

4 ページ

## 診療メモ 新型インフルエンザ

ゴールデンウィーク頃から始まった国内の新型インフルエンザ感染は、ここにきて蔓延の様相を呈しています。宮崎市保健所の瀧口先生が最新の情報をまとめて下さいました。

60ページ

## 随 筆 貴重な一冊のアルバム

先の大戦は銃後の女性や子供にも多くの惨禍と悲哀をもたらしました。貴島先生の随筆を読み、そのことに改めて思いを寄せました。

6 ページ

日 州 医 事 第 722号 (平成 2年 10月号) (毎月 1 回 10日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail:office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 荒木 康彦・副 委 員 長 和田 俊朗

委 員 津守伸一郎, 下園 孝司, 尾田 朋樹, 眞川 昌大, 川野啓一郎

坪井 康浩, 田坂 裕保, 川崎真由美, 藪内 悠貴

担当副会長 富田 雄二・担当 理事 荒木 早苗, 済陽 英道

事 務 局 学術広報課 喜入 美香, 杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)